319
238

步兵戰術講義錄

第二卷

軍需商會編纂部著

東京
軍需商會出版部發行

歩兵戰術講義錄第二卷目次

(3)歩兵一般戰鬪ノ原則……一

散開

(甲)要旨……九

(乙)疎散及濃密散兵線……一一

(丙)散兵線ノ構成……一五

(丁)散兵線ノ運動……一六

(伊)要領……二七

(呂)所謂戰鬪線ノ波動……三〇

(波)駈歩運動ノ用途……三一

(仁)躍進……三二

(イ)第一躍進ノ發起點……三二

明治
43. 3. 26
内交

(ロ)躍進ノ方法……三一
(ハ)躍進部隊單位ノ決定……三二
(ニ)一躍進ノ距離……三五
(ホ)躍進中比隣部隊ノ火力ヲ以テスル援助……三九
(ヘ)躍進ニ關スル平地特種戰鬪法ノ解決……四〇
躍進開始距離……四一
一躍進ノ距離……四二
躍進部隊ノ單位即チ散兵線ノ長サ……四四
躍進ノ號令傳達法……四五
躍進ハ誰カ命スルヤ……四六
(戊)散兵線ノ射撃……四八
(伊)要領……四九
各個射撃現今ノ趨勢……五〇
散兵線ニ於ケル各個射撃ノ利害……五〇
一齊射撃ノ利害……五六
射撃指揮ノ必要……六三
射撃指揮ニ關スル要件……六三
屢〻目標變換ノ不利……七六
射撃効力ノ區別及其影響……八〇
射撃効力ノ觀測……八一
觀測ノ方法……八二
(呂)彈丸ノ効力……八四
人馬殺傷ノ効力……八五
志氣上ノ効力……八五
(波)現用火器ノ被彈地……八五
(仁)歩兵中隊各種隊形命中成績表……八八
(保)騎兵及砲兵部隊ニ對スル歩兵火ノ効力……九二
(邊)部隊射撃ニ於ケル照尺ノ用法……九四

(登)射撃効力及射撃ノ緩急……九六
射手ノ伎倆……九六
部隊ノ狀態……九七
目標ノ遠近(距離)及大小(厚、幅、縦、長)ニ由ル射撃効力……九七
目標ノ遠近(距離)及大小(厚、幅、縦、長)ニ由ル射撃速度……一〇一
目標ノ位置……一〇一
天候、氣象……一〇二
射撃ノ姿勢……一〇三
(知)攻守兩者射撃開始距離……一〇四
(利)散兵連動間ノ射撃……一〇八
(奴)防禦ニ於ケル距離測量法……一一〇
(留)火線ニ於ケル各級指揮官ノ射撃指揮ニ關スル任務……一一五

歩兵戰術講義錄第二卷目次 終

歩兵戰術講義錄 第二卷

(3)歩兵 一般戰鬪ノ原則

散開

○抑モ一ノ獨立的戰鬪ハ大隊ニ於テ行ハルヘキモノニシテ大隊ナル團結ハ即チ之ヲ一般任務ト爲スモノナリ故ニ戰鬪ニ要スル總テノ機關ハ始メテ大隊ニ屬スルモノニシテ又戰鬪制式上大隊ニハ必ス豫備ヲ置クヘク規定セルモ之カ爲ナリ蓋大隊中ニ含マルル第一線中隊ノ散開隊形ヲ取リ敵ニ對スル行動ニハ完全ノ意味ニ於テ戰鬪ナル名稱ヲ下シ得ルモノニアラス中隊ノ此行動ハ改正草案ハ特ニ之ヲ散開戰鬪ト名ケタルモ新典ハ之ヲ削レリ

(甲)要旨

○散開隊形ハ歩兵戰鬪ノ主要ナル制式ニシテ之ヲ以テ火戰ヲ行フノミナラス多

クノ場合ニ於テ突撃モ亦此隊形ヲ以テ行フモノトス然レトモ散開隊形ノ指揮ハ困難ニシテ動モスレハ軍隊ハ指揮官ノ手裏ヲ脱シ易キカ故ニ散開ノ時期ハ過早ナラサルヲ要ス（新操、第一部百〇九）

本條ハ散開隊形ノ利害ヲ說キ緊要ナル注意ヲ示サレタルモノナリ

既ニ述ヘタルカ如ク今日ノ戰鬪ハ火戰ヲ以テ敵ニ打撃ヲ加ヘ之ニ尋テ白兵突撃ヲ行ヒ以テ敵ヲ撃攘スルヲ本旨トス之ニ於テカ歩兵ノ戰鬪ニ於テ主トシテ之ニ採用スヘキモノハ散開隊形ナルコトハ前已ニ述ヘタリ此火戰ニ於ケル各兵卒ハ概ネ己レニ對向セル者ハ通常終始敵ニシテ之ヲ倒セハ逐次其兩側ニ及フヘキモノナリ此趣旨ニ依レハ突撃ノ際ニ於テモ依然其隊形ヲ以テ突入セサルヘカラス即チ知ル從來ノ演習ニ於テ故ラニ突撃ノ爲ニ密集スルヲ見ル如キハ此趣旨ニ合セス然レトモ散開隊形ノ指揮ヤ困難ナリ故ニ過早ノ散開ハ避ケサルヘカラス是新典第一部第三十四第一項ニ「最前線ノ各部隊ハ成ルヘク密集隊形ヲ以テ前進シ我カ射撃効力ヲ期シ得ヘキ稍々前ニ於テ散開隊形ニ移ルモノトス是敵火ヲ減殺センカ爲ニモ亦必要ナリ」ト相照應シ其意義深遠ナリ

○時期トハ「をり」「とき」ト訓ス（例）時期尚早シノ如シ

○中隊獨立シテ戰鬪スルハ例外ノ場合ノミニシテ通常大隊内ニ在リテ戰鬪スルモノトス

大隊内ニ在ル中隊ハ其負擔スヘキ正面ニ所要ノ散兵ヲ配布シ他ノ中隊ト協同シテ戰鬪ス而シテ中隊長ハ專ラ正面前ノ狀況ニ注意スヘシト雖側方及背後ニ於ケル狀況モ亦顧慮スルヲ要ス（同右百十）

獨立スル場合ニ在リテハ全ク獨力ヲ以テ戰鬪シ且自ラ側方ヲ警戒セサルヘカラス故ニ成ルヘク永ク援隊ヲ控置スルヲ要ス

方今大軍ノ運用ニ方リテハ中隊ハ大隊内ニ在リテ戰鬪スルヲ通常ト爲シ其暴露セル一翼殊ニ獨立シテ戰鬪スルハ稀ナリトス

大隊内ニ在リテ戰鬪スル中隊ハ其負擔スヘキ即チ受ケ持ツヘキ正面ニ散兵ヲ配布セサルヘカラス舊典第二百四十一第一項ニ曰ク「凡ソ戰鬪ハ散開ヲ以テ始メト爲ス」ト獨乙操典第三百二十六第一項前段ニ曰ク「攻撃ハ每常散兵ノ散開ヲ以テ始ム」ト其意中隊ノ散開隊形ヲ取ルコトカ火戰ノ第一序幕ナリト言ンニ在

リ而シテ「中隊ハ其負擔スヘキ正面ニ所要ノ散兵ヲ配布シ」トノ意亦之ト相同シ

要スル注中隊カ散開戰鬪ヲ爲サンカ爲ニハ先ツ自己ノ負擔正面內ニ部下所要

ノ小隊ヲ散開セシメサルヘカラサルモノナリ

「他ノ中隊ト協同シテ戰鬪ス」トノ意新典第一部第百八十二「前略。諸般ノ戰況ニ應

シ各中隊ノ協同動作ヲ發揮シ指揮統一ナルハ大隊戰鬪ノ本旨トス」ト相照應セ

リ案スルニ大隊ノ戰鬪ハ之ヲ中隊ノ散開戰鬪ニ比スレハ大隊長ハ四個ノ散開

戰鬪ノ單位ヲ有スルヲ以テ既ニ第一線ニ展開セシ後ハ適當ノ時機ニ於テ適當

ナル方法ヲ以テ指揮スル能ハサル場合多カルヘク唯其豫備ノ適當ナル使用ニ

在ルノミ故ニ此四個ノ家族ノ一タル中隊ニ協同動作ヲ望ム所以ナランカ

中隊長ハ主トシテ其正面ノ狀況即チ敵情、散兵線ノ狀態及地形ニ注意スルハ勿

論ナリ是新典第一部第百十三ニ示シアル「前線ニ在ル中隊長ハ能ク地形敵情ニ

應シ占有シ得ヘキ利益ヲ看破シ得ルコト多キヲ以テ機ヲ失セス之ヲ獲得シ云

々」及同第百六十四第二項「敵我カ有効射擊界ヲ脫セントスルヤ中隊長ハ直ニ中

隊ヲ提ケテ前進スヘシ」等ノ利ヲ獲取シ又ハ適當ナル時機ニ援隊ヲ增加シ或ハ

其他必要ナル處置ヲ爲サンカ爲ナリ然レトモ又左ノ事ニ注意スルヲ要ス

一、側方ノ狀況

是友軍ノ狀況之ヲ例スレハ友軍ハ前進シツツアルカ或ハ突擊ニ移リシカ

等又暴露セル一翼ニ在ルトキハ之カ警戒ノ必要アリ

二、後方ノ狀況

是大隊長トノ連絡及豫備ノ動作ヲシテ例ヘハ大隊長カ漸次第一線ニ接近

スルカ或ハ豫備カ第一線ヲ推進シツツアリテ突擊ノ意圖現ハルルカ又ハ

大隊長ノ命令、記號等適時到達スルヤ否ヤ等

中隊獨立シテ戰鬪スル場合ニ在リテハ他ノ援助ヲ籍ルコト能ハサルヲ以テ萬

事自ラ所辨セサルヘカラス故ニ此際ニ於テハ援隊ハ變シテ半ハ豫備隊的ニ使

用セラルヘキモノナルヲ以テ從ヒテ成ルヘク永ク控置スルノ必要アルハ勿論

ナリトス又舊典第二百九十ノ所謂「射擊ニ精熟スル步兵ハ其射擊ニ由リテ正面

ヨリスル敵ノ攻擊ヲ擊攘スルヲ得ヘシ然ルニ上ノ如キ步兵ト雖モ一ノ弱點ヲ有

スル即チ地形若ハ他隊ニ依リテ掩護セラレサル側面是ナリ」ト是獨立中隊側方警

戒ノ必要ヲ解シ得ヲ餘アリト謂フヘシ

○中隊既ニ散開スルニ至ルモ當初ハ成ルヘク兵力ヲ節約スルヲ可トス何トナレハ最初ヨリ中隊ノ大部ヲ散開セハ十分ノ火力ヲ維持センカ爲終ニ他隊ノ援助ヲ要シ從ヒテ他中隊ト過早ノ混淆ヲ免レサルヘカラサレハナリ然レトモ戰況之ヲ要スレハ最初ヨリ十分ノ兵力ヲ散開スルニ躊躇スヘカラス（同右百十一）

本文ハ全中隊散開ノ不利ヲ說キ且必要ニ應シテハ全兵力ノ散開ヲ躊躇スヘカラサルヲ示ス

案スルニ戰鬪ノ各時期竝時々刻々生スル所ノ狀況ハ概ネ漸次ノ增加ヲ要求スルヲ以テ戰鬪ノ初期ニ在リテハ中隊ノ一部ヲ散開スルニ止マルヘク從ヒテ過早ノ混淆ハ避ケ得ヘシ然レトモ戰況ノ進捗ニ從ヒ中隊內ニ於ケル伍間增加ノ爲小隊ノ圍結ヲ破ルハ已ムヲ得サルコトニシテ散開戰鬪ノ單位タル中隊ノ各伍ノ混淆ハ此戰鬪ニ於ケル常態タルヘシ然レトモ他中隊ノ伍間增加ヲ受クルニ至レハ指揮統御共ニ困難ナルヤ明カナルヲ以テ此不利ヲ戒メタルモノナラン而シテ此趣旨ニ依レハ通常各小隊ヲ逐次ニ散兵線ニ增加スルモノナルコト明ナリ

後段然レトモ以下ハ新典第三部第二十ノ精神ニ同シ

戰況之ヲ要スレハ最初ヨリ十分兵力ヲ散開スル場合トハ一時ニ多數ノ火器ヲ排列スルヲ要スル時機ニシテ例ヘハ騎兵ヲ防禦スルトキ、俄然敵ヲ近距離ニ發見セシトキ、遭遇戰ニ於テ最初ヨリ猛烈ナル射擊ヲ爲シ續テ突擊ヲ行ハントスルトキ（是先制ノ利ヲ得シカタメ）又ハ開進掩護ニ當リ不意ニ側面攻擊ヲ受ケントスルトキ又主トシテ防禦的ノ處置竝僅小ノ兵力ヲ以テ廣正面ヲ保ツヲ要スル持久戰ノ場合等ヲ謂フ故ニ斯ノ如キ場合ニアラサルトキハ散開ノ始メニ於テハ常ニ兵力ヲ節用スヘキモノタルコトヲ知ルヘシ

斯ノ如ク兵力ヲ節約スルコトハ改正草案ノ所謂我動作ノ自由ヲ保ツ爲必要ナリ何トナレハ一旦敵ト觸接セシ部隊ハ復タ自由ニ他方向ニ動作シ能ハサレハナリ

其他新典第二部第三十四第二項ノ所謂遮蔽シテ敵ニ接近シ得タルトキハ最初ヨリ多クノ散兵ヲ配布シ得ヘク又永ク敵火ニ暴露シテ前進スルヲ要スル狀況

ニ在リテハ死傷ヲ補充スル爲散兵線ノ兵力ヲ漸次ニ增加セサルヘカラス從ヒテ最初ヨリ散兵線ノ兵力ヲ大ナラシムルヲ得ス

○陣地ヲ占領スレハ其配備ヲ地形ニ適合セシムルコト緊要ナリ通常所要ノ小隊ニ散開地域ヲ示シ爾餘ノ小隊ヲ後方ニ控置ス要シテ未タ火線ニ就クヲ要セサル間ハ遮蔽ヲ主トシ所要ノ緊視兵ヲ出シ警戒スヘシ何レノ場合ニ在リテモ前方及側方ニ斥候ヲ派遣シ又必要ナル地點ノ距離ヲ測定シテ之ヲ標示スルヲ要ス（同右百十二）

本條ハ防禦ニ於ケル中隊ノ陣地占領法ヲ示ス

中隊ノ陣地占領ハ通常各小隊ノ受持區域ヲ指定（小隊ノ分隊ニ於ケルモ亦同シ）シ小隊ハ之ニ依リテ占領ノ方法即チ何分隊ヲ如何ナル間隔ヲ以テ散開スル等ノ方法ヲ定ムルヲ確實且容易ナリトス其未タ火線ニ就クヲ要セサル間ハ計畫及準備ヲ爲シ所要ノ監視兵ヲ出シ置キ適當ナル時機ニ至リ火線ニ就カシムルヲ原則トス（獨操、散兵線防禦陣地ヲ守備スヘキトキハ通常先ツ小隊長及分隊長ニ依リテ陣地ノ骨幹ヲ確定セシメ而シテ陣地ニ若干ノ監視者ヲ置キ適時守備シ得ル如クスヘシ

（乙）疎散及濃密散兵線（バルグ戰術書訂正拔萃）

○射撃場ノ試驗ノ成績ニ依レハ横廣相同シキ稀薄線及稠密線ヲ射撃スルトキハ絶對的死傷（死傷ノ實數）ハ相同シカラサルモ之ニ反シ其比例數ハ相同シキモノトス即チ五十名ノ射撃部隊七百米ノ距離ニ於テ其發射彈數二百發ニシテ標的ノ横幅相同シキモノニ對シ左ノ結果ヲ得タリ

標的ノ數	命中彈百分比	公算命中標的數	殘的數
一〇〇	四八％	三八％	六二
五〇	二四％	三八％	三一

此數ヲ以テ見ルトキハ最初稀薄ノ散兵線ヲ進ムルハ其敵ニ對スルノ銃數過小ニシテ唯無形上ノ感覺ヨリ云フモ屢ミ增加兵ノ追送ヲ要シ遂ニ全死傷數甚大ナルノ原因ヲ爲スコトヲ知ルヘシ是徒弱ナル散兵線ノ射撃ハ其背後ニ前進シ來ル增

加兵ヲ掩護スルコト能ハサルヲ以テ恰モ我火力ノ掩護ヲ受ケスシテ前進スル散兵線ニ於ケルカ如キ損害ヲ被ムルニ至レハナリ

兵數相同シケレハ散兵線ノ濶大ナルニ從ヒ死傷固ヨリ少ナシト雖指揮困難ノ度ヲ增加スルノ不利アリ之ニ反シ稠密ナル散兵線ハ射撃効力ノ強大ナルハ固ヨリ爭フヘカラスト雖散兵線ノ稠密ナルニ從ヒ各散兵ノ地形ヲ利用スルノ願慮ハ漸次放棄セサルヲ得ス又稠密線ニ於ケル死傷ノ人心ニ及ホス感動ハ稀薄線ニ比シ銳敏ニシテ軍隊ノ士氣ヲ沮喪スルコト大ナルモノトス

○凡ソ攻撃戰鬪ニ於テハ火線ノ初期ト雖散兵ノ數ハ必ス守者ト相匹敵スルヲ要ス之カ爲メハ唯稠密線アルノミ決戰ヲ求ムヘキ戰鬪ニ在リテハ展開シ得ヘキ地域ヲ悉ク利用シ散兵線ヲシテ至高ノ稠密程度ニ達セシメ且終始此程度ヲ維持セサルヘカラス

戰鬪ノ初期及持久戰ニ於テハ之ト異ニシテ敵ニ多クノ死傷ヲ與フルヨリハ寧ロ己レカ秩序ヲ維持シテ爾後ノ企圖ニ備ヘサルヘカラス之カ爲ニハ自ラ能ク掩護スルニ在リ自ラ能ク掩護スルハ獨リ地形ノ利用ニ求ムルノミナラス又隊形ノ選擇宜キヲ得サルヘカラス即チ散兵線ノ稀薄ナルヲ可トス

防禦ニ在リテハ概シテ攻者ノ前進運動ヲ知ルヤ否ヤ守者ハ散兵線ヲ至密ナラシムルモノトス

(丙)散兵線ノ構成

○散開ハ順序正シク靜肅且迅速ニ諸方向ニ施行シ得ルヲ要ス(新操第一部百二十六)

散開ハ密集各隊形ヨリ順序正シク靜肅且迅速ニ諸方向ニ施行シ得サルヘカラス蓋散開ハ敵前ニ於テ行フモノナルヲ以テ順序正シク(混雜スルコトナク)靜肅ニ諸種ノ密集隊形(中隊縱隊、橫隊、側面縱隊等)ヨリ迅速(敵ニ對スルモノナルナク以テ躊躇スルコトナク)ニ何レノ方向(方向ヲ變換シタル後散開スルトキハ時機ヲ失シ易シ)ニモ施行セラレサルヘカラス元來以上ノ要求ハ從來屢々生シ易キ弊害ナルヲ以テ掲ケラレタルモノニ外ナラサルヘシ

各散兵ノ間隔即チ空間間隔(軸心間隔ニ對シテ稱スル語ニシテ兩散兵ノ肘々間ノ間隔ヲ謂フ)ハ約二歩ヲ定規トス是實戰ノ經驗ニ鑑ミ一方ニハ新銳ナル火器ニ對シテ損害ヲ減少スルト又他方ニハ散兵線ノ過度ナル延長ニ伴フ指揮ノ困難ヲ生セシメサルニ在リ然レトモ強

ヒテ其間隔及整頓ヲ曇守スルヲ要セス主トシテ地形ヲ利用シ火器ノ効力ヲ發揚スルヲ勉ムヘキモノトス但散兵線過度ノ擴張及相互ノ射撃妨害ハ戒ムヘキコトトス

此定規ノ間隔ハ之ヲ伸縮シ得ルハ勿論ナリ

(獨、操)密集隊次ヨリ散開隊次ニ移ルハ散兵線ノ成形ニ依リテ生スルモノトス而シテ斯ノ如キ場合ニハ散兵相互間ノ間隔ハ一定セサルモノニシテ號令ヲ以テ間隔ヲ指定セサルトキハ通常二歩ヲ取ルヘク之ニ異ナル間隔ヲ生セシント欲セハ之カ命令ヲ必要トス二歩以上ノ間隔ヲ有スルトキハ疎散散兵線ト稱シ二歩以内ナルトキハ之ヲ濃密散兵線ト稱ス間隔疎散ニ過クルトキハ指揮ヲシテ困難ナラシメ之ニ反シテ最小限ノ間隔(間隔ナシ)ハ射手ヲシテ銃ノ自由使用ヲ妨害セシムルモノトス

○中隊ハ中隊長ノ下ス散開ノ號令ニテ通常散兵線ト援隊トニ區分セラルルモノトス援隊ハ中隊長ノ指示ニ從ヒ必要ノ距離ヲ得ルマテ通常其位置ニ停止ス(同右百二十七ノ一)

元來全中隊ヲ散開スルハ稀有ニシテ中隊ノ戰鬪法トシテ火力ノ維持及增加ノ爲若干小隊ヲ控置スルトキ又ハ其戰鬪正面限界アリテ全中隊ヲ散開シ能ハサレハ自ラ散兵ノ剩餘ヲ生スルニ至ルヲ以テ援隊ヲ設クルニ至ルヘシ新典ニ於テハ中隊長ノ下ス號令ニテ散開スルヲ本旨ト爲ス是中隊長ハ散開戰鬪ノ指揮官ナルヲ以テ其責任アルニ由ルナラン

○退却スル中隊ヲ散開セシムルニハ先ツ敵方ニ向ケ次ニ散開セシム(同右百三十)

退却スル中隊ヲ散開スルニハ先ツ敵方ニ向ケ次ニ散開セシム蓋密集部隊退却中散開スルハ再ヒ敵ニ抵抗スルカ爲ニ生スルモノナリ故ニ必ス敵方ニ轉回シタル後散開セサルヘカラス是敵ヲ背ニシテ散開スルトキハ潰亂ニ陷リ易ケレハナリ

(獨、操)背進ニ於ケル小隊ヲ散開スルトキハ常ニ先ツ正面ニ轉回ヲ命シ次テ「某小隊基線上ニ—散レ」ノ號令ヲ下ス

獨乙歩兵操典改正要領ニ曰ク「退却中ノ散開ハ先ツ敵ニ向ヒ正面ヲ變換シテ後チ散開ヲ命スルヲ通則トス然レトモ稀ニハ退却中ノ部隊カ後方ニ在ル陣

地ヲ占領スルヲ要シ之カ爲己ニ退却中ニ於テ散開セサルヘカラサル場合モ亦是アルヘシ斯ノ如キ場合ニハ陣地ニ到リテ後正面變換ヲ爲スヘキハ論ナキナリ」ト蓋此後段ノ動作ハ概ネ潰亂ニ陷リ易キヲ以テ本邦操典ニハ敵方ニ面シタル後散開スルヲ原則ト爲セルモノナルコトヲ銘肝スヘシ

(獨、操、)中隊長ハ數小隊ヲ同時ニ使用セサルヘカラサルコトヲ豫期スルトキハ各小隊カ既ニ散開スルニ方リ其散開スヘキ地域ノ後方ニ在ル如ク豫メ適當ニ各小隊ヲ分離シテ前進セシムルヲ可トス

○散開ハ多クノ場合ニ於テ前方ニ施行スルモノトス然レトモ情況ニ依リ其線上ニ散開スルコトアリ

新操典中之ヲ舊操典ニ比シ注意スヘキ件概ネ左ノ如シ

一、小隊ニ關スル散開制式ハ之ヲ總テ中隊ニ移シ中隊ヲ以テ基準ト爲セリ是中隊ハ散開戰鬪及敎育ノ單位ナルニ因ルナラン從ヒテ小隊ヲ以テ行フ場合ハ中隊ニ準スレハ可ナリ

二、新典ニ於テハ側面縱隊ニ在リテモ散開スヘキ小隊要スレハ其關係位置(某小隊ノ右或ハ左)ヲ示シタル後散開スヘキコトヲ規定セラル

側面縱隊ヨリ其場ニ散開スル制式ヲ規定セラル之ニ依リテ大ニ便ヲ得ルニ至レリ

(獨、操)分隊縱隊ヨリ散開スルニハ先頭分隊ニ散兵線ヲ作ル此以外ニ動作スルトキハ基準分隊ヲ號令ヲ以テ示スヘキモノトス」分隊縱隊ニ於ケル小隊ハ一側ニ於テセス兩側ニ散開セシムルコトヲ得此場合ニ在リテハ前方半小隊ノ分隊ヲ先頭分隊ノ右ニ、後方半小隊ノ分隊ヲ先頭分隊ノ左ニ散開セシムルモノトス

三、中隊ノ散開ニ方リテハ常ニ散開スヘキ小隊及基準ヲ示シ二小隊以上散開スルトキハ其關係位置ヲ示スコトニ改正セラル是實際便利ニシテ混雜ヲ生スルコトナケレハナラン

(丁)散兵線ノ運動

○散兵線ノ運動ハ敵ト觸接シアルトキニ施行スヘキモノナルヲ以テ極メテ單○一

ナラサルヘカラス之カ爲運動ハ前進、退却、微小ナル角度ノ方向變換ノ三、四種ニ過キス

(甲)要　領

○散兵線ノ運動ハ勉メテ秩序及連繫ヲ維持シ成ルヘク速ニ敵ニ接近スルヲ主要トス（新操、第一部、百三十二）

○秩序ニハ有形的秩序ト無形的秩序トアリ無形的秩序ハ階級又ハ指揮權及服從ノ順序ヲ謂フ所謂軍秩ニシテ既ニ軍紀的意味ヲ有ス有形的秩序ハ戰鬪上ノ秩序ニシテ命セラレタル各隊間ノ距離、間隔、各揮揮官ノ位置ノ保持及命令傳達ノ順序等ヲ謂フ

○連繫ハ直接又ハ間接ニ某方向ニ有形的連絡ヲ爲スヲ謂フモノニシテ其目的ハ直接ニ自己ノ任務ヲ盡サンカ爲又ハ友軍相互間ノ協同動作ヲ爲サンカ爲ニ外ナラス

案スルニ未タ射撃ヲ開始セス敵火ノ効力微弱ナル間ハ秩序ト連繫トヲ維持シ以テ指揮官ノ掌握ニ便ニ沈着シテ前進シ得ルモ已ニ敵火ノ効力著シキニ至レハ地形ヲ利用シ又ハ損害ヲ避クル爲下級指揮官ノ獨斷ヲ要スルコト出來スヘシ是勉メテナル三字アル所以ナランカ又成ルヘク速ニ敵ニ接近スルハ散兵本來ノ目的ニシテ縱ヒ一歩ト雖速ニ近ツケハ其レ丈ケ損害ヲ減スル譯ナリ

○散兵ハ必スシモ整頓及間隔ヲ墨守スルヲ要セス是地形ヲ十分利用センカ爲ナリ然レトモ散兵線ノ各部ハ運動中行進方向ヲ保チ且其正面ヲ擴ケサルコトニ注意シ又若干兵卒ノ遮蔽ヲ顧慮シテ全隊一致ノ運動ヲ妨クルコトナキヲ要ス（同右三十）

散兵ハ前進間地形ヲ利用シ以テ敵火ノ損害ヲ減殺スル爲整頓及間隔ヲ絶對的ニ墨守スルヲ要セサルナリ元來整頓ハ停止シテ射撃ヲ行フニ至リ始メテ必要ヲ感スルモノニシテ間隔ハ散兵線中各部ノ運動及射撃ヲ妨害セサルカ爲ニ必要ナルモノナリ故ニ前進運動中ハ地形ヲ利用スルカ爲或ハ一時密接シ或ハ離隔シ或ハ一部ハ他ノ部隊ヨリ早ク某地物ニ占據スルコトアルヘシ殊ニ射撃開始前ノ前進中ヲ然リトス是射撃開始陣地ハ最早ヤ敵火ノ爲無爲ニシテ前進シ

能ハス損害ヲ受クルコト大ナル地點ナリトス然レトモ若干兵卒ノ遮蔽ニ顧慮スルノ極散兵線ニ甚シキ波狀ヲ來シ或ハ其正面擴張スルニ至レハ前條ノ要求ニ乖キテ全隊一致ノ運動ヲ妨害シ相互ノ連繫ヲ斷チ或ハ行進方向ヲ誤ルノミナラス尙且各部隊相互ニ射撃ヲ妨害スルニ至ル豈ニ深ク戒メサルヘケンヤ

行進方向ト ハ上級指揮官ヨリ與ヘラレタル目標(共同各個)又ハ基準部隊ニ關シテ自己ノ取ルヘキ行進方向ヲ謂フ若散兵及其後方部隊ヲシテ方向ヲ誤ラシムルトキハ敵火ノ下ニ在リテ方向變換ヲ行フノ不利ニ陷ルヘシ

(獨操)精密ニ同一ノ間隔ヲ取リ且左右整頓ヲ嚴守スルハ價値ナキモノトス

○敵火ノ下ニ在リテ散兵線ヲ側方ニ移スハ不利ナリ然レトモ其効力未タ甚シカラサル間ハ斜行進ニ依リテ僅ニ其行進方向ヲ移スコトヲ得ヘシ(同右百三十三)

改正草案第二百二第二項舊典二百五十八)ニ曰ク敵ノ射撃界內ニ於テ正面變換ヲ行フハ全ク例外トス若他ノ正面ニ於テ散兵線ヲ設クルノ必要ヲ生スルトキハ後方ニ在ル密集部隊ヲ新正面ニ散開シ舊散兵線中不要ニ屬スルモノハ速ニ之ヲ命スヘシ」獨逸操典ハ指揮ノ部ニ於テ一般ニ關シ說テ曰ク「交戰部隊ノ大ナ

ルニ從ヒ最前線ニ在ル戰鬪線ノ正面變換ハ益〻困難ナルモノナリ故ニ戰鬪開始前ニ於テ戰鬪正面ハ精密ニ確定セサルヘカラス爾後前進中戰鬪正面ノ不正ヲ發見スルトキハ大部隊ニ在リテハ正當ナル正面ニ新線ヲ展開スルノ外他ノ策ニ出テ得ルコト稀ナリ」ト然ルニ日本新典ニハ之ヲ削除セラル案スルニ斯ル狀況ニ遭遇スルハ例外ニシテ又不利ノ極ナリ併立部隊內ニ於テ尙且然リ故ニ特別ノ所置ヲ要セハ足ルヲ以テ之ヲ操典ニ於テ原則的ニ揭クルノ必要ヲ認メサルニ因ルナラン然レトモ參考ノ爲前揭ノ解釋ヲ左ニ揭クルコトト爲サン

元來彼我ノ散兵線ハ相平行スルカ然ラサルモ等シキ關係位置ニ配置セラルルヲ自然ノ狀態トス然ルニ今散兵線ノ方向變換ヲ行フハ多クハ不利ノ狀況ニ陷リタルモノニシテ其運動困難ナルノミナラス損害ヲ受クルコト亦大ナリ故ニ他ノ正面ニ於テ散兵線ヲ設クルノ必要生スルトキハ先ツ後方ニ在ル密集部隊ヲシテ欲スル所ノ方向ニ轉移セシメ爾後始メテ散兵線ヲ設クヘキモノトス何トナレハ散兵線ヲシテ從來ノ正面ニ斜交スル新正面ヲ採ラシムルコトハ要スルニ唯皮想上ニ於テ時間ヲ節約シ得ルノ利アルモ徒ニ急劇不

規則ナル動作ニ陥リ易キノミナラス互ニ相併立スル部隊ノ散兵ヲシテ混淆錯雜ナラシムルノ危險ヲ生スレハナリ

然レトモ前述ノ方法ハ中隊ノ如キ小部隊ニ在リテハ適當ナラス少ナクモ大隊以上ノ部隊ナラサルヘカラス

○散兵線ノ運動ハ通常速歩ノ速度ヲ用フルモノトス但敵ノ有効射撃下ニ在リテ一地區ヨリ一地區ニ達スル爲ニハ駈歩ヲ用ヒ時宜ニ依リ其歩度ヲ速ムルヲ要スルコトアリ而シテ經過スヘキ行程長キトキハ若干距離毎ニ停止スルヲ可トス

一躍シテ經過スヘキ距離ハ土地ノ景況軍隊ノ狀態敵火ノ强弱等ニ依リ一定セスト雖成ルヘク短キニ失セサルヲ要ス然レトモ百米ヲ越ユルトキハ往々照準ノ精度ヲ害スルニ至ルコトアリ

前進愈々困難ナルトキハ敵火ノ狀態ヲ考ヘ散兵線ヲ區分シ交互ニ前進セシムルコトアリ然レトモ之カ爲前進益々遲緩シ且指揮ノ統一ヲ困難ナラシムルモノナルカ故ニ縱ヒ之ヲ行フトキト雖小隊ニ充タサル兵力ヲ以テスルコトヲ避クヘシ

（同前右三十五）

（獨、操、躍進ノ長サハ稀ニ八十米ヲ超エ得ルモノトス（第三百三十七）縱ヒ原則上躍進ハ成ルヘク長ク行フヘキモノナレトモ敵ヲシテ發射ノ暇ナカラシメンカ爲短距離ノ躍進ヲ行フコトニ習熟セシメサルヘカラス要ハ迅速且同時ノ起立竝快速ノ突進ニ在リ

（獨、操、躍進ノ長サハ敵火ノ効力、地質及地形ニ關スルモノニシテ成ルヘク速ニ敵ニ近接センカ爲ニハ躍進ハ長カランコトヲ要ス小部隊ニ在リテハ一般ニ短距離ノ躍進ヲ以テ滿足セサルヘカラス然ラスンハ後方ニ停止スル部隊ノ射撃ヲ妨害スルヲ以テナリ（後略）

（獨、操、前略）分隊躍進ハ前進ヲ遲緩ナラシムルヲ以テ單ニ狀況之ヲ要スルトキノミ用ヒラルルモノトス小隊以上ノ部隊ヲ以テスル躍進ハ相互ノ射撃ノ援助ヲ困難ナラシムルモノナルヲ以テ射撃ノ優勢ヲ保持シ得ヘキ場合ニノミ適用スヘキモノトス

○散兵線ノ運動ハ（成シ得ル限リ）速歩ノ速度ヲ用フルモノトス然レトモ掩蔽物ナキ地ヲ速歩ヲ以テ前進スルハ唯敵ヲ距ル遠距離ニ於テノミ用ヒラルルモノトス敵

ノ直前ニ於テ一地部ニ達スル爲或ハ敵火ノ危險界ヲ通過スル爲ニハ駈歩ヲ用フ時宜ニ依リ其歩度ヲ速ムルコトアリ(以下之ヲ大駈歩ト假稱ス)但大駈歩ハ體力ヲ費スコト大ナルヲ以テ之ヲ用フルノ時機ハ過早且長距離ナラサルヲ要ス

前項ニ指示セル駈歩(大駈歩)ヲ用フル場合ハ其通過距離短少ナルトキニ限ル若其距離長大ナルトキハ之ヲ地區ニ區分シ各地區毎ニ駈歩ヲ以テ通過シ停止間ハ伏臥ヲ爲ス是駈歩(大駈歩)ヲ用フルハ前項ノ趣旨ト同シク曝露時間ヲ減少スルニ外ナラサレハナリ

既ニシテ敵火ノ有効射程内ニ入レハ單ニ一進一止ノ駈歩(大駈歩)ノミヲ以テ前進シ得ルモノニアラス換言スレハ彼我兩軍ノ間ニ介在スル地部ヲ徒手一擧ニ通過スルコト頗ル困難ナルヲ以テ必スヤ彼ニ若干打撃ヲ加ヘ其機ニ乘シテ飛躍奮進セサルヘカラス之カ爲停止間前進準備射撃ヲ以テ敵火ノ損害ヲ減スルモノトス此動作ヲ學習上躍進ト謂フ

第三段ハ敵火ノ中ニ於ケル最後ノ前進方法ナリ從來平地ニ於ケル攻撃演習ニ於テ散兵線ノ死傷ヲ減センカ爲屢〻散兵線ヲ定式的ニ區分シ順序的交互ニ躍進セシムルヲ唯一ノ方法ト爲スモノアルヲ見ル是唯演習上ニ於ケル一劇タルニ過キス抑〻戰場ニ於ケル躍進ノ時機ハ地形主トシテ敵火ノ種類(砲歩兵火)及其効力ノ如何ニ關ス如此交々躍進スルトキハ敵ハ新躍進ノ場所及時間ヲ先見シ得ヘク從ヒテ躍進ノ爲散兵ノ起立スルニ際シ直ニ能ク準備セル射撃ヲ以テ之ヲ迎フニ至ルヘシ之ヲ以テ新典(改正草案モ同シ)ニ於テ敵火ノ狀態ニ考ヘ交互ニ前進云々ト明示シ之ヲ戒メタル所以ナラン カ

○駈歩及大駈歩ノ用途竝躍進ニ關シテハ終リニ述フ就テ見ルヘシ

○改正草案ト新典トノ比較左ノ如シ

一、疾驅ナル名稱ヲ廢セラルル但之ニ類スル歩度ハ時宜ニ依リ其歩度ヲ速ムルヲ要スルコトアリト云ヘト元來疾驅(仮稱大駈歩)ナルモノハ好ンテ之ヲ用フヘキモノニアラス操典ハ其意義ヲ明ニセリ

二、若之ヲ三四十米以下ナラシムルトキハ概シテ利益勘キモノトス」ヲ削除セリ元來躍進ハ前進ノ爲ノ一方便タルニ過キス然ルニ此數在ルカ爲之ニ固着ス

ルノ傾向アルニ依ルナランカ

三、其他字句ノ修正ニ依リ文意明瞭ト爲レリ

○敵ノ有効射撃下ニ於テ一地ニ據レル散兵線ハ動モスレハ其地ニ固着シ易ク更ニ之ヲ前進セシムルハ困難ニシテ敵ニ接近スルニ從ヒ其度ヲ增スモノトス故ニ必要以外ニ永ク停止セシムルコトヲ避ケ間斷ナク勇進スルノ氣勢ヲ保持セシムヘシ特ニ能ク遮蔽セラレタル敵ノ射撃下ニ久シク停止スルハ徒ニ夥多ノ損害ヲ招クコトニ留意セサルヘカラス（同右百三十八）

躍進ハ前既ニ述ヘタル如ク單ニ著シク體力ヲ疲勞セシムルノミナラス前進ヲ遲滯シ易キモノナルコトヲ考ヘサルヘカラス抑〻有効ナル敵火ノ下ニ在リテ一地ニ占據セル散兵線ハ其地ニ固着シ易ク更ニ之ヲ驅リテ前進セシムルハ頗ル難事ニ屬スルモノニシテ敵ニ近接スルニ從ヒ其度ヲ增加スルモノナリ何トナレハ掩蔽物ヲ出テテ前進スヘキコトヲ兵卒ニ要求スルノ度數愈〻多キニ從ヒ其施行益〻困難ナレハナリ故ニ此困難ヲ排除スルカ爲ニハ必要以外ニ長ク停止スルヲ避クルノミナラス成シ得ル限リ躍進ノ度數ヲ減少シ（長距離躍進）而シテ一旦之ヲ開始スルヤ常ニ勇進スルノ氣勢ヲ保持セシメ半途ニシテ沮滯スルコトアルヘカラス

元來躍進ハ前進ノ一方便タルニ過キス要ハ間斷ナキ前進ニ在リ然レトモ敵火ノ中ニ在リテハ先ツ我火力ヲ敵ニ加ヘテ制壓シタル此各瞬間ヲ利用シテ前進スル動作ヲ操リ返シ以テ敵ニ躍近スルコト是ナリ若夫レ前進ノ氣勢ヲ失シ掩蔽物ニ據ル敵ノ射撃下ニ停止スルコトアラハ我射撃ハ効力ナキニ反シ敵火ノ爲ニ夥多ノ損害ヲ招クニ至ルヘシ

デツクフート著帥兵術必携ニ曰ク攻撃ニ際シ若不比較的ノ損傷ヲ生セサラシメント欲セハ次ノ件ヲ確守スルヲ要ス即チ敵火ノ効力大トナリ是非トモ之ニ應射セサルヲ得サルニ至ル迄間斷ナク前進運動ヲ繼續スルコト是ナリト

斯ノ如キ前進ヲ容易ナラシムルハ將校ノ範例努力ニ依リ兵卒ヲシテ決戰距離ニ至ル迄敵ニ接近セシムルコトトス軍隊既ニ此距離ニ進ミ敵ニ對シテ占位シアルトキハ縱ヒ平時ノ敎育ヲ忘却セシ者ト雖已レノ天性ニ訴ヘ此時期ニ際シ

テ退却スルハ恰モ自カラ盡滅ヲ好ムニ等シク自己ノ身命ヲ救出スルニハ唯前方即チ敵ニ向ヒ突進スルノ一法アルノミナルコトヲ決心スルニ至ルヘシ

○改正草案ト新典トノ比較

改正草案ノ「退却ハ全ク自滅ト均シキコト是ナリ」ヲ削除セリ蓋新典ハ綱領其他ニ於テ十分ニ攻撃精神ノ發揚ヲ奬勵スルノミナラス戰鬪目的ニ依リテハ退却スルコトアレハナランカ但敵ヲ撃攘スヘキ目的ヲ有スル軍隊カ退却スルハ論外ナリ

○散兵線ハ中隊長ノ號令ニ依リ其指示スル目標ニ向ヒ行進ス

散兵ハ分隊長ヲ、分隊長ハ小隊ノ中隊ノ中央ヲ基準トシテ行進シ分隊長及小隊長ハ通常中央前ニ在リテ其部下ヲ誘導ス要スレハ中隊長ハ基準小隊ヲ示スヘシ

散兵線ヲ區分シテ前進セシメントスルトキハ豫メ其區分ヲ示スヘキモノトス

散兵ハ分隊長ノ誘導スル位置ニ停止ス（同右百三十九）

新典ハ從來ノ疑義ヲ明瞭ナラシメ且基準ヲ中央ニ取ルコトヲ明示セラル其甚

準小隊ヲ示スハ二小隊散開シタルトキナルヘシ

(呂)所謂戰鬪線ノ波動（新操、第一部百三十七第二部三十五ノ二、獨操、三百三十五及三百三十六參照）

○長大ナル散兵線敵ノ射界外ヨリ運動ヲ始メタリト假想セヨ速歩ノ速度ヲ以テ漸次前進シ來リタルトキ二三發ノ射撃ヲ受クルモ未タ軍隊ノ行動ヲ阻碍スヘキモノニアラサレハ停止スルコトナク依然前進ヲ繼續スヘキモノトス

更ニ前進シテ己ニ損害ヲ生シ且指揮モ困難ナルニ至ラントスレハ危險地帶ヲ通過センカ爲速歩運動ヨリ駈歩ニ移リ次ノ地點（通常掩蔽物アル地點）ニ到リ比隣部隊（速歩ヲ以テ行進シツツアル）ノ到着ヲ待ツ漸次此方法ニ依リ一地區ヲ通過スル毎ニ停止シテ氣息ヲ恢復ス斯ノ如クシテ最早ヤ射撃ヲ開始セサレハ前進シ難キ第一射撃陣地（一定スヘキニアラサルモ約千米ナラントノ說アリ）ニ達スルモノトス、散兵線ノ全部ハ常ニ前述ノ如ク同一動作ニ出ツルヤ否ヤハ地形及敵火ノ効力等ニ關ス要スルニ同樣ナル損害ヲ被ルノ時期ニ至レハ始メテ同一動作ニ出ツルニ至ラン故ニ散兵線ノ一部ハ掩護物ヲ利用シ或ハ開濶地ヲ前進スルモ未タ遠距離ニシテ敵火ヲ被ラサルヲ以テ敵眼及敵彈ヲ避

ケンカ爲第一ノ有利ナル陣地ニ達スルマテ速歩ヲ以テ行動シ他ハ敵火ノ危險地帶ヲ速ニ通過スルカ爲駈歩ヲ以テ之ニ達センコトヲ力ムヘシ(速歩ヲ取リテ前進シタル部隊ハ駈歩ヲ以テ行進シタル部隊ニ比シ血液循環ノ激動及呼吸ノ切迫ヲ來スコトナキヲ以テ速ニ眞好ナル命中ヲ收ムルノ利益ヲ享有スヘキモ敵火ニ暴露スル時間ニ至リテハ後者ヨリ長シ)或ハ前ニ速歩ヲ取リツツアリシ部隊モ後ニハ駈歩ニ移ラサルヘカラサルニ至ルコトアルヘシ

斯ノ如ク散兵ノ全線ハ一種波動的ノ運動ヲ以テ敵ニ接近シ第一ノ射撃陣地ニ至リテ停止シ以テ射撃ヲ開始ス而シテ此波動的運動ハ地形僅ニ不齊ナルカ若ハ叢林及農作物ヲ有スルトキハ殊ニ起リ易キモノトス故ニ軍隊ノ齊一且同種ナル前進運動ハ縱ヒ之ヲ阻碍スヘキ地形上ノ顯慮ヲ度外視スルモ練兵場ニ於テ屢〻見ルカ如キ彼ノ整然タル一線ヲ以テ前進ヲ實行センコトハ到底望ムヘカラサルコトニ屬スルモノトス

爾後ニ於ケル前進ノ狀況モ亦之ニ類ス即チ散兵部隊敵ノ有効射界ニ達セシ後前述ノ如ク駈歩ヲ以テ行動スルトキハ時々呼吸ノ恢復ニ多クノ時間ヲ要スルノミナラス敵火ノ損害ヲ受クルコト大ナルヲ以テ散兵ハ停止間射撃ヲ以テ嗣後ノ前進準備ヲ爲シ其前進(躍進)ニ方リテハ散兵線ノ他部(或ハ比隣部隊)ノ援助射撃ヲ受ケサルヘカラス

凡ソ地形ノ利不利、敵火ノ種類及強弱ハ戰鬪ノ各部ニ於テ全ク異ナルモノトス即チ二三ノ地點ニ於ケル散兵ハ比較的容易ニ前進シテ陣地ニ占據スルコトヲ得テ其攻擊運動ハ遲滯ナク施行セラレ漸次新陣地ニ達スルコトヲ得ルモノニシテ之カ爲最モ困難ナル情況ニ遭遇セシ比隣部隊ヲ誘引シテ漸次ニ前進シ得ルニ至ルコトアルヘシト雖某部ハ一陣地ヲ占領センカ爲當ニ一回ノミナラス數回之ヲ失ヒ更ニ之ヲ略奪セサルヘカラサルヘシ(是平時演習ニ於テ見ルコト能ハサル現象トス)

斯ノ如ク輓近歩兵戰鬪ノ特徵タル戰鬪線ノ波動ヲ來ス

○デツクフート

此波動的運動ヲ左ノ如ク簡明ニ論セリ

散兵線中地形ノ爲多少ノ掩護ヲ受ケ得ル部隊(最モ僅ナル守者ノ陣地前ニ於ケルモ亦散兵線ハ地形ノ爲多少掩護セラルルコトアルヘシ)ハ先頭第一ニ前進シテ據點ヲ占領シ以テ他ノ部分ハ敵火ノ一時微弱ト爲リタル機會ニ乘シ駈歩ヲ以テ續行ス之ニ於テカ數時間ニ亘ル劇烈ナル歩兵戰鬪起ル而シテ攻者ノ占有シタル利益ハ往々敵ノ爲ニ奪還セラルルコトアリ例

へハ最前方ニ出テタル攻者ノ兵群ハ不意ニ突撃セラレテ其孤立セル陣地ヨリ撃退セラレ或ハ陣地ノ占領ヲ試ムルニ方リ敵ノ猛烈ナル射撃ノ爲ニ撃破セラレ再ヒ其隊伍ヲ整頓スルニ先チ遠ク退走スルカ如シ

(波)駈歩運動ノ用途（其速度ヲ速メタルモノヲモ含ム）

○駈歩運動ハ靜肅ニ施行スルコト難ク殊ニ射撃ヲ施行セントスル前ニ在リテハ氣息切迫シ命中ヲ害スルコトヲ顧慮スルヲ要ス即チ之ヲ用フルノ時期左ノ如シ（操、二百五、十九ノ一）

一、敵ノ有効射程內ニ於テ平坦開濶地ヲ通過セントスルトキ（所謂射撃ヲ行ハサル一進一止ノ前進）

例ヘハ火線ニ增加スルトキ又ハ敵ノ有効射程內ニ於テ迅速ニ一地區ニ達セントスルトキノ如シ此場合ニ在リテハ獨乙操典躍進前ニ新陣地ヲ指示スルコト屢〻是アリ）ノ要領ニ準シ發進前ニ新地點ヲ示スヲ得ハ便ナリ

二、突撃ノトキ

三、迅速ニ集合併合スルヲ要スルトキ

元來駈歩ノ歩度ヲ速メタルモノハ各人體力ノ有ラン限リヲ盡スモノナルヲ以テ妄ニ用ユヘキモノニアラサルコトハ既ニ述フルカ如シ故ニ散兵各個ノ統一ヲ犧牲ニ供シテモ之ヲ行ハサル場合アラン之カ爲ニハ第一射撃陣地以前ニ行フカ如キハ不可ナルヘシ

(仁)躍進

(イ)第一躍進ノ發起點

○躍進ハ散兵前進運動ノ最終手段トシテ用フヘキモノナルコトハ前已ニ述フルカ如シ其之ヲ用フルハ主トシテ敵火ノ効力如何ニ關スルヲ以テ通則ヲ設クルコト能ハスト雖第一ノ射撃開始地點ヨリ前進スルニハ躍進ニ依ラサルヘカラサルコト多シトス而シテ平坦開濶ノ地ニ在リテハ概ネ千米以上ノ距離ニ於テ開始スルニ至ルモノトス

(ロ)躍進ノ方法

○敵ノ有効射程内ニ於ケル躍進ハ發進ノ際既ニ散兵ノ停止間ニ於ケル射撃ニ依リ前進準備ヲ爲シアラサルヘカラス而シテ前進愈〻困難ナルニ至レハ射撃ヲ中絶セサル爲散兵線ヲ區分シ他部ノ射撃ノ掩護ニ依リ交互ニ躍進セシムルコトアリ（操典、百三十二及二百四十二、改草、百十八及百四ノ一ト三、新操、第一部、百三十七ノ一ト三）

○躍進部隊ノ指揮官ハ先ツ起立シテ挺身前進シ兵卒之ニ續行ス（此指揮官ノ決然身ヲ挺ンテ正面前ニ飛躍シ敵ニ向ツテ突進スルハ兵卒ノ志氣ヲ鼓舞スルニ最有効ノ方法ナリ）此前進ノ際ヲ以テ最モ危機ト爲ス何トナレハ此時守者ハ未タ挫折セラレサルモノハ其火力ヲ之ニ集注シ以テ百方我前進ヲ防遏スルコトヲ努ムルモノナレハナリ

○躍進部隊ヲ二部ニ分チテ施行スルトキハ先進部隊ハ敵ノ集注射撃（始メハ微弱ナルモ次第ニ強サヲ加フ）ヲ受クルカ故ニ此部隊獨リ前方ノ陣地ニ留マルコト長キトキハ終ニ撃退セラルルノ虞アリ故ニ後續部隊ハ極力以テ先進部隊ニ追及セサルヘカラス

（ハ）躍進部隊單位ノ決定

○此兵力ノ大小強弱ハ學理的ニ之ヲ定ムルコト能ハス是主トシテ地形及敵火ノ狀態ニ關スレハナリ

バルク曰ク「一般ニ躍進部隊ハ寡少ニ失スヘカラス蓋其寡少ナルモノハ自信力及士氣上ノ感應其強大ナル者ニ比シ乏キヲ以テナリ故ニ敵ノ有効射界内ニ於ケル躍進ハ幾個ノ大部隊相協力シ以テ其火力ヲ發揚スルヲ要ス過弱部隊ハ特ニ不齊地ニ在リテハ屢〻後方部隊（特ニ伏姿ニ在ル）ノ射撃ヲ被ルノ虞アリ故ニ大隊ノ攻撃ヲ行フニ方リテハ其初メ先ツ中隊ヲ以テ躍進部隊ノ單位ト爲スヲ適當トス換言スレハ中隊ハ小隊長ノ援助ヲ以テ火力ヲ自己ノ掌裡ニ存シ且一齊ニ躍進ヲ起シ得ヘキ單位ナリ」ト

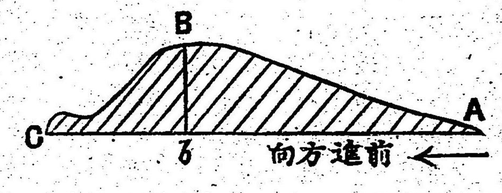
之ヲ要スルニ躍進部隊兵力ノ決定ニ關シテハ左圖ノ如キ答解ヲ與ヘ得ヘシ

一、Aハ効力アル敵火ヲ始メテ受クル地點若ハ攻者ノ射撃開始ノ地點トス

二、bハ攻者ノ最有効射撃ヲ施行シ得ル地點ニシテBbハABC曲線中此射撃効力ノ最高度ヲ示ス

三、Cハ前項ノ効力ニ由リテ若干最終ノ射撃ヲ爲シ突撃ニ移ル地點ヲ示ス

先ツ地形ノ關係ヲ度外ニ置キ單ニ敵火ノ効力狀態(換言スレハ我
應射ノ程度)ニ依リ
ハ學理的ヨリシテ
テ起リ漸次前進ス
爲シテb點ニ至レ
コト」是ナリ



最近戰役及南阿戰爭ノ實驗ニ基ケル此決定ハ敵ノ有効射界內ニ
於テハ到底中隊ヲ以テスル躍進ハ損害大ニシテ成立セサルカ如
シ然レトモ此區分小ナレハ前進愈〻遲緩シ且統一ヲ困難ナラシ
ムルヲ以テ此不利ヲ被ラサルト又一方ニハ比較的損害少ナル部隊ノ最小限ハ小
隊ナルヘキコトハ新操典ニ於テ新ニ明示セラレタルカ如シ
之ヲ要スルニ前揭圖解ニ於テ躍進部隊ノ兵力關係ヲ例示スレハ左ノ如クナルヘ
シ

一、最初敵火ノ効力未タ甚シカラサル間ハ一中隊若ハ其レ以上ノ部隊ヲ以テシ
得ルコト
二、b點ニ近ツクニ從ヒ漸次小部隊ニ區分スルヲ要シ終ニ一小隊ニ至ルヘキコ
ト
三、b點ニ於テ攻守兩者射擊ノ優劣相平均シ攻者ニシテ守者ヲ制壓シタル後ノ
躍進ハ突擊開始ノ地點ニ向フニ從ヒ漸次兵力ヲ增加シ得ルコト
然レトモ躍進ノ原則トシテハ次ノ事ヲ銘心スヘシ即チ情況之ヲ許セハ成ルヘク
大部隊ヲ以テ一擧ニ前進スルコト是ナリ
其他後章平地ニ於ケル特種戰鬪法ノ解決ヲ見ルヘシ

(二)一躍進ノ距離

○此距離ハ諸種ノ情況即チ地形、地質、軍隊ノ狀態(疲勞士氣)及ヒ敵火ノ强弱ニ關ス而シ
テ廣大ナル耕作地ニシテ地質柔軟ナル耕野ヲ貫通スルトキ(地質又ハ兵卒甚シク
疲勞シアルトキ(軍隊ノ狀態)等ニ在リテハ躍進ハ往〻困難トナルコトアリ地形敵
方ニ向ヒ遞次ニ良掩蔽物ヲ呈スルトキハ固ヨリ一掩蔽物毎ニ躍進ヲ行ヒ得ルト

雖平坦開濶地ニ在リテハ躍進毎ニ其困難ノ度ヲ增加ス(地形)ルコト殊ニ大ナルヲ以テ成ルヘク長距離ヲ躍進スルヲ可トス(多クハ敵火ノ爲ニ此要求ヲ制限セラル)要スルニ敵火ノ強弱ハ此距離ノ決定ニ多大ノ關係ヲ有スルモノナリ今左ニ各國規定ノ距離ヲ示サン

獨國

稀ニ八十米ヲ超ユ

佛國

一掩蔽物ヨリ一掩蔽物ニ至ル迄

埃國

地形、戰鬪ノ狀況及兵卒ノ體力ニ關スルモ通常次ノ射擊位置ニ至ルヘキモノトス

○一躍進ノ距離ノ利害

猛烈ナル敵火ノ下ニ於ケル躍進距離ハ欲セサルモ自然ニ短縮スルヲ常態トス而シテ此距離ノ長短ニ於ケル利害左ノ如シ

(甲)短キトキ

(1)其利トスル所左ノ如シ

一、敵火ノ効力ヲ減殺ス

距離短キトキハ其經過時間亦短キヲ以テ敵ノ不意ニ出ツルヲ得即チ守者其射擊ヲ躍進部隊ニ施スノ遑ナク縱ヒ急遽ニ發射ヲ試ミントスルモ其前既ニ散兵ハ新位置ニ到着シアルヲ以テ損害ヲ被ムルノ顧慮減少ス

二、遲留兵ハ容易ニ先進兵ニ追及スルコトヲ得

(2)其害トスル所左ノ如シ

短距離ノ躍進ハ時間ヲ費スコト大ナルヲ以テ攻擊ノ本旨即チ速ニ敵ニ達スルノ要求ニ乖戻ス

ホウニツヒ曰ク「前進間屢〻停止スルハ健康ナル攻擊ノ棺蓋ナリ」ト

距離短キトキハ其攻擊運動ハ大ニ遲緩スルノ憂アリ況ンヤ猛烈ナル敵火ノ中ニ於ケル散兵線ヲ叱咤シテ反覆突進セシムルハ一大難事ニシテ此困難ハ一躍進毎ニ增加スルモノナルオヤ是等ハ皆躍進距離ノ長大ナルヲ利トスル所以ニシテ一度躍進ヲ起ストキハ體力ノ繼續シ得ル限リ敵火ノ許シ得ル限リ或ハ然ラサルモ最近ノ掩護地迄躍進ヲ要スル所以ナリ

(乙)長キトキ

一躍進長キトキハ各兵ハ他ニ意思ヲ轉向スルノ遑ナク從ヒテ前進容易ニシテ統一ニ指揮シ得、

躍進距離長キトキハ其前進間心身共ニ奮激シテ自己ノ危殆及隣兵ノ死傷モ顧慮スルニ遑アラサルノ利アリ（此際戒心スヘキ要件ハ教育不十分ナル兵卒ノ意ニ停止シ爲ニ前線ノ前進遲滯ヲ來スコト是ナリ）然レトモ躍進ヲ以テ通過スヘキ地域長大ナルトキハ氣息ヲ恢復スルカ爲自然小休憩ヲ爲ササルヘカラス此際停止セル散兵若射撃スルヲ要セサルトキハ次回ノ躍進ハ容易ナルモノトス

二、從來ノ實例ニ由レハ長距離ノ躍進ハ損害大ナリ

未タ挫折セサル敵ニ對シ行フ躍進ハ數歩ノ前進ニモ新鋭部隊ノ推進奬勵ヲ要ス又戰例ニ徴スルニ敵ノ有効射界内ニ於ケル躍進ハ三、四十歩ニシテ已ニ其前進ヲ遲滯停止セシムルコトアリ是長距離ノ躍進ハ概ネ行ヒ難キ例證ナリトス（千八百七十八年ミユニノーヴヲー第二壘ノ攻撃）

三、體力ハ自ラ長距離ノ躍進ヲ拒絶ス

地形ノ關係ハ此距離ニ大ナル影響ヲ來スコトハ前已ニ述ヘタルカ如シ然リ而シテ兵卒ノ體力モ亦此距離ニ制限ヲ與フルコト勘カラス何トナレハ棘兵場ニ於テ唯一部充實セル背嚢ヲ負フ現役兵ノミニ在リテハ固ヨリ五十米以上ノ躍進モ行ヒ難キニアラサルヘキモ數多ノ在鄉兵ヲ混入シテ編成セル戰時編制（此定員ハ戰闘前諸種ノ事故ニ因リ若干減員シタリトスルモ）而モ戰時定量ノ背嚢ヲ負ヒ疲勞多キ運動ヲ以テ平坦開濶地ヲ前進スル戰闘ニ在リテハ自ラ此距離ヲ制限セラルルモノナレハナリ況ンヤ躍進部隊ハ多クノ場合ニ於テ到着停止後直ニ發射スヘキ餘力ヲ存スルヲ要スルオヤ而シテ短距離ニ在リテモ全部齊一ニ新陣地ニ到達シ能ハサルコトハ多クノ戰例ニ於テ證明スル所ニシテ殊ニ長距離ニ於テ然リトス

以上ノ利害ト實例トニ鑑ミ方今一躍進ノ距離ハ決勝準備射撃陣地ヲ短少頂點トシ同陣地ニ至ルマテハ漸次短縮シ同陣地ヨリ敵陣地ニ接近スルニ從ヒ漸次延長スルモノニシテ其短少頂點（最小限）ニ於テハ三四十米ナルヘク最大限ハ百米トス（前題「躍進部隊單位ノ決定」參照）

（ホ）躍進中比隣部隊ノ火力ヲ以テスル援助

○躍進部隊カ比隣部隊ノ火力ヲ以テ援助セラレンコトハ決シテ恃ミ難キコトト

ス何トナレハ左ノ弊害アレハナリ

一、此援助部隊ハ其相對峙スル所ノ敵ヲ棄テテ他方面ノ敵ニ當ルハ爲シ得ヘキコトニアラス

二、斜方向ニ發射スルトキハ銃ノ身長短小ナルヲ以テ隣兵ノ射撃ヲ妨害スルノミナラス躍進部隊ノ翼兵ハ此援助射撃ノ彈丸ヲ被ムルノ危險アリ

以上ノ弊害アルヲ以テ此射撃ニ依リ躍進部隊ヲ援助スルハ其相對峙スル敵兵他方面ニ射撃ヲ指向シタルトキニシテ且此援助射撃ノ躍進シツツアル友軍ニ危害ヲ及ササルトキナルヘシ元來射撃目標ノ分配ハ中隊ヲ單位（新典第一部百五十一ノ二及歩兵射撃教範改正草案第百二十三ノ二）トスルモノナレハ中隊内ノ援助射撃ハ協同動作旺盛ニシテ之ヲ能クシ難キニアラサルモ中隊カ他中隊ノ對スル敵ヲ射撃スル如キハ徒ラニ射撃ヲ紊亂スルノミニシテ躍進援助不可能ト斷言スルヲ得ヘシ但瞰臨陣地ヲ占領セル眞ノ射撃部隊ノ如キハ此限リニアラス

（ヘ）躍進ニ關スル平地特種戰鬪法ノ解決（借行社記事拔萃摘載）

○所謂「ボーア」戰術ナル聲四方ニ轟々トシテ所說種々ニ分レタル時代アルモ決局操典ノ原則ニ變更ヲ來スヘキ價値ナク單ニ之ヲ廣義ニ解スレハ足レリトスルノ論旨ハ正確ナリトス今參考ノ爲左ニ躍進ニ關スル之カ結論ヲ述ヘントス

○躍進開始ノ距離

我歩兵新操典第一部第百二十七第一項（舊操、二百五十九）ニ曰ク「散兵線ノ運動ハ通常速歩ノ速度ヲ用フルモノトス但敵ノ有効射撃下ニ在リテ一地區ヨリ一地區ニ達スル爲ニハ駈歩ヲ用ヒ時宜ニ依リ其歩度ヲ速ムルヲ要スルコトアリ」ト佛國操典ニハ戰鬪ハ勇敢ヲ尚フ行進ハ迅速ノ飛躍ニ依ルヲ常トシ要スレハ數個ノ小區隊ヲ以テ土地ノ起伏ヲ利用シ再進ノ準備ニ切要ナラスンハ停止スト雖射撃セストアリ露國戰鬪條規ニハ連續ノ前進ハ損害ヲ避クルノ最良手段ナリ而シテ歩兵ハ通常速歩ヲ用ヒ小銃有効射界内ニ在リテハ迅速ナル速歩敵火ノ掃射甚シキ開濶地ニ在リテハ駈歩ヲ用フトアリ英國操典ニハ火力ノ決戰距離ニ達スル迄ノ前進ハ迅速且勇敢ナルヘシトアリ是等ヲ參照セハ攻撃ニ於ケル散兵ノ躍進運動ハ敵ニ近接スルノ手段タルト又敵ノ射撃効力ヲ減殺スルノ一方便ニシテ而シテ其要ハ體力ノ許ス限リ成ルヘク速ニ我火力決戰ノ距離ニ達スル

トニ在リ散開ハ我火力ヲ發揚スルノ主旨ナルモ亦損害ヲ避クルノ一手段ニシテ通常當初ハ速歩ノ速度ヲ以テ運動スルヲ得ン然リ而シテ武器ノ進歩ニ伴ヒ損害ヲ減少スルカ爲運動ヲ迅速ニスルノ地域モ亦增大スルハ自然ノ理勢ナルヲ以テ始メハ成シ得ル限リ體力ヲ節用シ置クコト必要ナリ故ニ佛國及英國操典ノ規定ハ全然首肯スルコト能ハス

散兵敵ノ射撃界内ニ入ルモ未タ射撃開始ノ距離或ハ火力決戰ノ距離ニ達セサレハ無益ノ損害ヲ避ケ且其時間ヲ成ルヘク短縮スル爲散兵線ノ運動ヲ迅速ニセサルヘカラス此ニ於テカ躍進ヲ開始スルニ至ル

要スルニ火器ノ威力及各國ノ防禦ニ於ケル射撃開始距離ヲ參照セハ敵火ノ効力狀態ニ依リ平坦開濶地ニ於テハ約千三四百米ヨリ躍進ヲ開始セサルヘカラサルニ至ルコトモアラン(本書「躍進ノ部(イ)第一躍進ノ發起地點參照)

○一躍進ノ距離

元來躍進ノ距離ハ敵火ノ威力、地形、軍隊ノ戰鬪能力、其他戰況ニ依リ自然ニ定マルモノナルモ成ルヘク其回數ヲ減少シ其距離ヲ大ニシ速ニ敵ニ近接シ近距離ニ於テ有効ノ火力ヲ以テ敵ヲ壓倒センコトヲ謀ルハ不變ノ原則ナリト雖唯今日火兵ノ威力著大ト爲レルヲ以テ此原則中深ク敵火ノ効力ヲ顧慮セサルヘカラサルニ至レリ若夫レ徒ニ原則ニ拘泥シ其應用ヲ誤リ文明ノ軍ニ對シ漫ニ大距離ノ躍進ヲ行ハンカ其攻撃敗北ニ終ランコト一目瞭然タリ之ヲ以テ躍進ノ距離ヲ短縮スルハ今日ノ火兵戰術上已ムヲ得サルコトニシテ其短縮ノ程度ハ躍進中敵彈ノ爲ニ夥多ノ損害ヲ被ラス又我呼吸甚シク切迫セサル(停止後速ニ射撃ヲ開始シ得ルカ爲)ヲ標準トスルヲ至當ナリト認メラル

以上ノ論旨ニ依リ一躍進ノ距離ハ左ノ二種ニ分タル而シテ以下示ス所ノ距離ハ單ニ標準數ヲ掲ケタルノミニシテ一定不變ノモノニアラサルコトヲ銘心スヘシ

(一)火力ノ決勝ヲ爲シ得ルノ距離(四百乃至六百米)ニ到ル間ノ躍進

敵兵我カ躍進動作ヲ見ルヤ否ヤ我ヲ照準シ且射撃スル動作ハ彼我相距ル遠キトキハ遲ク近ツクニ從ヒ速ナルハ自然ニシテ敵ニ近ツクニ從ヒ躍進ノ距離ヲ益〻短縮スヘキハ亦已ムヲ得サル所ナルヘシ故ニ敵ニ稍々遠キ間ハ良ク四十米ヲ躍進シ得ヘキモ近キ距離ニ達スルニ隨ヒ既ニ三十米ノ躍進モ困難ナルコトアルヘシト.ハ一部論者ノ說ク所タリ

(二)決勝距離以後ノ躍進

斯ノ如ク一躍進ノ距離ヲ戰況ニ應シ三十乃至四十米ト爲スモ是畢竟彼我火力ノ決戰ヲ爲スマテノ時機トス一タヒ火力ノ決戰優勝ヲ占メ大ナル損害ヲ與ヘ敵線動搖シ其射撃萎靡スルニ至レハ我前進舊ニ復シ容易ト爲ルヘキモノニシテ此時以後ハ若干長キ距離ヲ躍進シ得ルハ一部ノ論者ノ信スル所タリ實際ハ敵ニ近ツクニ隨ヒ益々短縮スルナランカ畢竟此躍進ヲ決勝距離前後ニ區分スル如キハ決勝距離ナルモノヲ過信シタル空論トス見ヨ最近戰爭ニ於テ如斯キコトアリシヤ否ヤ

○躍進部隊ノ單位即チ散兵線ノ長サ　此決定ハ又重要ナル問題ナリトス第一部第百三十九ニ「散兵線ヲ區分シテ躍進セシメントスルトキハ豫メ其區分ヲ示スヘシ」トアリ又第一部第百三十七第三項ニハ「前進愈々困難ナルトキハ敵火ノ狀態ニ考ヘ散兵ヲ區分シ交互ニ前進セシムルコトアリ然レトモ之カ爲前進益々遲緩シ且指揮ノ統一ヲ困難ナラシムルモノナルカ故ニ縱ヒ之ヲ行フトキト雖小隊ニ充タサル兵力ヲ以テスルコトヲ避クヘシ」ト舊操典第百三十二ニハ「散兵線ヲ二部ニ分チタルトキハ部隊ヲ指示シタル後云々」トアリ又從來屢々見ル敵ノ有効射界內ニモ關セス舊操典ノ此明文ニ拘泥シ通常二部ニ分チタル一二中隊毎ニ躍進ヲ實行シ來ルモノアルモ是狹義ノ解釋ニシテ今日ノ火力ニ對シテハ斯ノ如キ廣正面ヲ以テ一擧ニ躍進スルハ到底不可能ナルヘシ夫レ大部隊ヲ以テスル躍進ノ不利ハ其前進間敵ニ注射スル我火力ヲ著シク減少シ敵ノ注意ヲ惹起シ易ク且廣目標ヲ呈シ從ヒテ損害ノ大ナルニ在リ之ニ反シ躍進部隊小ニ失スレハ攻撃運動澁滯シ易ク又信賴心及士氣上ノ感應乏シキ不利アリ又各躍進部隊長ハ少クモ射撃ノ指揮ニ任シ困難ナル戰況ニ於テ散兵線ヲ奬勵奮進セシムルノ威望ト臨機ノ處置ヲ爲シ得ルノ才能アルヲ要ス故ニ本邦ニ於ケル操典ノ規定ハ前述ヘタルカ如ク其最小限ヲ小隊ト爲セリ換言スレハ將校ノ指揮スル一隊以下ニ分割セサルヲ常トスルモノナリ

○躍進ノ號令傳達法　此號令ハ最初低聲ニテ發セラレ戰線ニ沿フテ左右ニ人ヨリ人ニ傳達セラレサルヘカラス何トナレハ躍進ヲシテ損害ナカラシメンニハ敵ノ不意ニ起リ彼ヲシテ射撃ノ準備ヲ爲シテ我ヲ迎フルコト能ハサラシム

ルヲ要スレハナリ故ニ豫メ高聲ヲ以テ（殊ニ敵ノ近距離前ニ於ヲ）躍進ヲ準備セシムルカ如キハ我動作ヲ敵ニ豫告スルニ等シトハ獨乙國軍事界一般ノ趨勢タリ

然レトモ戰鬪喧騷ノ場合ニ於テハ平時演習ト其趣ヲ異ニシ此顧慮ハ寧ロ不用ナルカ如シ要スルニ躍進動作ヲ爲スヘキコトヲ兵卒ニ知ラシムルト同時ニ之カ準備ノ爲一時射撃ヲ中止セシムルハ甚タ忌ムヘキ事ニ屬ス故ニ「前へ」ノ號令下ルヤ突嗟ノ間ニ準備シツツ發進セシムルヲ可トス

獨乙操典ハ第一部射撃指揮ノ部第二百一ニ於テ左ノ如キ規定ヲ爲セリ躍進ニ於テモ亦之ニ準據スルヲ得ンカ

火線ニ生スル戰鬪ノ喧噪ハ往々命令及號令ノ徹底ヲ困難ナラシムルヲ以テ之ヲ了解セシメンカ爲分隊長ヨリ他分隊長ニ傳達セシメサルヘカラス然ルニ此法ニ依ルモ未タ其目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ兵卒ヨリ他兵卒ニ傳達シテ之ヲ行フヘシ命令若ハ號令ノ傳達ニ關シテハ分隊長ハ其責ニ任スルモノニシテ分隊長ハ命令ノ受領ヲ立證センカ爲擧手ヲ行フモノトス

○躍進ハ誰カ命スルヤ　中隊毎ニ中隊長之ヲ命スルヲ以テ通則ト考フ（唯小隊散開シアルトキハ其小隊長之ヲ命ス）是大隊長ハ一般ノ戰況ニ應シ各中隊ノ連繫ヲ保持スル爲必要ナルトキ初メテ各中隊ニ指示スル所アルモ中隊ニシテ互ニ良ク連繫シ適當ニ動作スル限リハ大隊長之ニ干與スルノ必要ナク寧ロ各中隊長ハ戰況ニ應シ射撃効力ノ景況ヲ顧慮シ某小隊ヲ指示シテ先ツ躍進ヲ爲サシメ他ノ小隊ハ逐次之ニ準シ躍進スルヲ以テ適當ナリト信スレハナリ又爾後ノ躍進ニ在リテモ通常中隊長ニ於テ某小隊ヲ示シ躍進セシムルコト至當ナリ但何レノ小隊ヨリ躍進セシムヘキヤハ地形及戰況殊ニ敵火ノ狀態ニ因ルヘキモノニシテ毎次同一小隊ヲ指定スルハ不可ナリ

○爰ニ一ノ問題アリ第二第三次ニ躍進スル小隊ハ第一次ノ小隊ノ線ニ止マルヘキヤ或ハ若干歩前方ニ超出シテ停止スヘキヤ是ナリ而シテ地形其他ノ狀況之ヲ許ス限リハ第二法ヲ以テ可トス第一法論者ハ斯ノ如クナレハ各小隊ハ鱗次ノ配備ト爲リ散兵ノ全線ニ於テ各小隊散在シ其狀態ハ獨乙ニ於テ一時賞揚セラレタル彼ノ分隊毎ノ躍進ト殆ト同一トナリ從ヒテ同一ノ不利ヲ有シ中隊長ノ指揮モ困難トナリ全體兵力ノ集結上不利ナリト云ヘリ然レトモ一歩ニテモ進出ノ得ル

ニモ關セス一線ニ停止スル如キハ形式ニアラズシテ何ソヤ中隊長ノ手裡ヨリ脫スル如キアラハ中隊長ハ停止シアル小隊ヲ叱咤シテ追及セシメナハ可ナラン操典第二部第三十五ニハ「地形及敵火ノ關係ハ散兵線ノ各部分ハ一樣ナラスシテ一部隊ハ他部隊ニハ一時連繫ヲ失フトモ他部ノ射撃ヲ妨害容易ニ前進シ得ヘキコトアリ斯ノ如キ場合ニハ直ニ其機會ト利益トヲ獲得スルコトヲ勉ムヘシ」ト

(戊)散兵線ノ射撃

改正草案ニ於テハ次ニ掲クル獨乙ノ如ク小隊長ハ射撃指揮官ニシテ中隊長之ヲ統轄スル精神ナリシモ新典ハ中隊長之ヲ號令シ例外ニ於テ之ヲ小隊長ニ任スルコトト爲セリ

(獨、操)中隊長散兵線ニ在ルトキハ目標ヲ選擇シ且之ヲ指示シ竝射撃ノ開始ヲ命スルモノトス又距離測量ノ結果ヲ告知シ及射撃効力ヲ觀測スヘキモノニシテ其他ニ至リテハ小隊長ニ射撃ノ指揮ヲ擔任セシメ若干小隊若ハ全中隊ノ射撃効力ヲシテ時間及地域上總括セントスルトキ或ハ小隊長ノ爲シ能ハサル注意ヲ爲サントスルトキニ限リ之ニ干渉スルモノトス

(伊)要　領

○散兵線ノ射撃ハ各個射撃ヲ用フルヲ常トス是精密ニ照準シ好機會ヲ待チテ發射シ最大ノ効力ヲ收メ得ヘケレハナリ(新操、第一部百四十一)

本項ハ舊典第百三十九ノ末項ナリシモ元來散兵線ノ射撃ハ各個射撃ヲ用フルヲ常トスルノ規定ハ散兵射撃ノ骨子ナルヲ以テ之ヲ別條ニ移サレタルモノナラン

(獨、操)射撃ハ通常散兵射撃ヲ用フルモノトス

(露、操)散兵線ノ射撃ヲ左ノ四種ニ區分セリ

一、小隊及分隊毎ノ一齊射撃

二、各個射撃即チ徐射撃(分隊或ハ群ニ於テ兵卒交互ニ射撃ス)

三、並(及濃密)射撃即チ順序ナク射撃ス

四、彈藥數ヲ指定シ並射撃ヲ行フ此方法タル彈藥ノ消費ヲ顧慮シ所謂猛烈ナル疾風射撃ヲ行フモノトス

○各個射撃現今ノ趨勢　各個射撃ハ密集散開兩隊形ニ於テ使用セラル以下說ク所ハ散兵線ノ各個射撃ニ關ス

ウキーグ氏一齊射撃ノ利ヲ唱道セシ以來諸國ハ其說ニ化セラレシモ現今ハ人性自然ノ理性ニ基キ此說ヲ拋棄シテ步兵射撃ノ主ナルモノハ各個射撃ナルヲ承認スルニ至レリ然リ而シテ一齊射撃ノ利ハ前述ノ如シト雖此射撃中兵卒自ラ各個射撃ニ移ルカ如キ亂射ニ陷ラハ其効力ノ大小豈ニ論スルヲ要センヤ然リ而シテ一齊射撃間將校皆斃レ且敵火ノ損害ヲ受クルニ至ラハ其各個射撃ニ移ラサラント欲スルモ豈ニ得ヘケンヤ

佛露兩國ニ於テハ決戰距離ニ至ル迄一齊射撃ヲ用フヘキコトヲ規定セリ蓋此射撃ノ効力ノ優レルコトヲ信スルニアラスシテ各兵卒ノ伎倆ハ到底各個射撃ニ依賴スルコト能ハス從ヒテ射撃軍紀弛廢シ彈藥ヲ浪費スルノ虞アルヲ以テ上官ノ之ヲ牽束スルノ止ムヲ得サルニ依ルナラン カ

○散兵線ニ於ケル各個射撃ノ利害　其主ナルモノヲ左ニ揭ク

(一)其利

最大ノ効力ヲ得ルハ此射撃ニ若クモノナシ是通常散兵ハ地物ヲ利用シ若ハ伏姿ヲ用フルヲ以テ各兵卒ハ精密ニ照準シ好機會ヲ待チテ發射シ得レバナリ

(二)其害

射撃軍紀能ク維持セラルルニアラサレハ忽チ不規不正ノ隨意射撃ト爲リ終ニ彈藥ヲ浪費スルニ至ルノ虞アリ

バルク曰ク各個射撃中徐並兩射撃ノ効力ハ一齊射撃ニ優ルモ急射撃ハ然ラス又急射撃ハ敵ニ多數ノ彈丸ヲ注射シ得ルノ利アルモ軍隊ノ沈靜ハ毎發ニ減シ且射撃ノ中止極メテ困難ナルノ不利アリト但本邦新操典ニハ徐並急ノ區別ヲ廢セラレタルコトニ注意スヘシ

本邦ニ於テハ散兵線ノ射撃ハ常ニ各個射撃ヲ用フルコトヲ規定セリ蓋射撃ノ最大効力ハ實ニ此ノ射撃ニ若クモノナケレハナリ

○各個射撃ハ目標ノ景況、彈藥ノ現數、氣象ノ關係及射撃ノ精神體力及伎倆ニ依リ自ラ緩急ヲ生スルモノトス若指揮官其速度ヲ增減スルノ必要ヲ認ムルトキハ注

意ヲ與フルモノトス（同上百十二）

（獨、操二百七）散兵射撃ノ速度ハ戰況、戰鬪目的、現存セル彈藥竝目標ノ狀況ニ關スルモノトス「遠距離、不利ノ光明竝目標ノ認識困難ナルトキハ發射速度ヲ制限セサルヘカラス又長時間繼續スル火戰ノ大部分ハ彈藥ノ節用ヲ緊要ト爲ス通常最高度ノ射撃速度ハ各發射ノ命中確實ヲ減シ束藁ノ縱長距離ヲ增加スルモノトス然レトモ戰況、戰鬪目的竝敵ノ動作ハ短時間ニ至大ノ効力ヲ收メシメンカ爲大ナル射撃速度ヲ要求スルコトアリ而シテ此際ニ於テハ多量ノ彈藥ヲ消費スルモ已ムヲ得サルコトアリ」散兵ハ斯ノ如キ狀況ヲ發見シ且獨斷ニテ之ヲ利用スルコトニ習熟セサルヘカラス

（同、百九十六ノ三）指揮官射撃速度ノ增減ヲ適當ナリト思料スルトキハ即チ「徐ニ（並ニ）打カカレ」ノ號令ヲ下ス

目標ノ景況ト（歩、騎、砲兵等）ハ目標ノ種類大小、位置及其距離ノ遠近ヲ謂フ而シテ目標ノ景況ハ射撃効力ニ大ナル關係ヲ有スルヲ以テ自然射撃速度ヲ規正スルノ資料ト爲ル各個射撃ニ於ケル速度ハ主トシテ目標ノ明不明ニ依リテ決定セラル而シテ晉ニ目標ノ高、幅、深サニ關スルノミナラス又大氣ノ影響ヲ蒙ムルモノトス特ニ極メテ低キ目標ニ在リテハ之ヲ識別シ得ルノ程度ハ往々數分時間ニシテ變更スル故ニ目下肉眼ヲ以テ明瞭ニ識別シ得タル伏姿ノ散兵線モ其後間モナク望遠鏡ヲ以テスルモ再ヒ之ヲ發見スルコト甚困難ナルコトアリ故ニ軍隊其射撃ノ爲ニ有利ナル時機ヲ逸スルコトナク之ヲ利用シ得ル如ク敎育セラレサルヘカラス之カ爲敵兵ノ起立ニ由リ其目標ヲ大ニシ或ハ光線ノ變更ニ依リ目標ヲ明瞭ナラシメシ等凡ソ射撃効力アルヲ發見スルヤ號令ヲ待タスシテ射撃ハ自然ニ活潑トナリ其速度ヲ增加スヘキモノトス若之ニ反シ目標不明トナル等ノ場合ニ在リテハ其速度ハ緩徐トナルヘキモノナリ是有利ノ情況再ヒ現出スルヲ待チ直ニ速度ヲ增加セシカ爲ナリ

彈藥ノ現數　彈藥豊富ナレハ速度ヲ增加シ得ヘク不足ヲ訴フレハ止ムヲ得ス之ヲ減少スヘキハ自然ナリ

氣象ノ關係　氣象トハ大氣ノ物理的諸現象ヲ謂フ詳ク云ヘハ氣溫、氣壓、風向、風速晴雨、乾濕ノ諸現象ヲ謂フ

射手ノ精神體力及伎倆　戰鬪ノ光景、疲勞ノ度ヨリ受クル射手ノ身體及精神上ノ交感ニシテ射撃命中ノ度ト大ナル關係ヲ有スルモノナリ

射手ノ伎倆　ハ命中ニ大ナル關係ヲ有スルヤ明ナリ其詳細ハ(登)射撃効力及射撃ノ緩急ノ部ヲ見ルヘシ

○射撃スヘキ目標ノ全正面ニ射彈ヲ分配スルコトハ特ニ緊要ナリ故ニ各個射撃ニ在リテハ示サレタル目標ノ幅員中已ニ對向セル部ニ射撃ヲ向クルモノトス（同上百十三）

（獨、操、獨乙歩兵射撃教範通常各部隊竝各散兵ハ已レノ正對セル敵ノ部分ヲ射撃スヘキモノナリト雖十字火ヲ行フコトヲ避ケサルヘカラス敵ノ正面ノ一部認識困難ナル場合ト雖散兵ハ認識シ易キ部分ニノミ射撃ヲ移スコトヲ許サス然レトモ有利ナル狀況例ヘハ敵ノ躍進ニ方リ我射撃効力ヲ利用スルカ如キハ此限リニアラス

本條ハ舊典ニ見サル所ニシテ改正草案ニ於テモ之ニ該當スル條項アルモ其意堅カラス

指示セラレタル目標ノ全幅ニ射彈ヲ分配スルハ今日ノ射撃戰術上必要ノ事ニシテ其意一兵ト雖我射撃ヲ受ケスシテ起ツ者ナカラシムルニ在リ是此敵ハ精神的打撃ヲ受クルコトナク安心シテ照準シ發射スルヲ以テ其効力大ナレハナリ此趣旨ヨリ操典第百七十七ノ如ク大隊ノ攻撃目標ヲ中隊ニ示スヲ常則トシ中隊毎ニ目標ヲ示スハ變態トスル所以ナラン

本文ノ趣旨ニ依レハ兵卒ハ已レニ正對スル敵ヲ飽迄敵トシ此敵ヲ倒セハ次ニ其兩側ニ移ルモノニシテ極端ニ云ヘハ銃劍ヲ以テ突キ倒ス迄ハ最初ノ敵ハ尚敵タルヘシ

○一齊射撃ハ敵ノ有効射撃ヲ被ラサルトキノミ應用シ得ルニ過キサルモノトス是一齊射撃ハ軍隊ヲ掌握シ得ルノ利アリト雖戰鬪ノ喧噪ナルニ方リテハ密集セル小隊ト雖尚聲音ヲ達セシムルコト難ク散開セル小隊ニ於テハ一層困難ナルモノトス（同上百十四）

本條ハ一齊射撃ノ利害及用途ヲ示ス

（獨、操、百九十三ノ二）一齊射撃ヲ用フルハ例外ノ場合トス即チ敵ノ不意ニ出ルカ

或ハ自己ノ部隊ヲ號令ヲ以テ確實ニ掌握シ得ラルルトキハ有利ナリトス

一齊射撃ハ密集隊形（通常横隊ヲ用フ）ヲ以テスルモノ及散兵線ヲ以テスルモノノ二種アリ以下述フルモノハ散兵線ノ一齊射撃ニ關ス

一齊射撃ノ利害　左ノ如シ

（イ）一齊射撃ノ利左ノ如シ

一、軍隊ヲ確實ニ掌握シ得

射撃ノ速度ハ一ニ指揮官ノ掌中ニ在リ從ヒテ彈藥ノ浪費ヲ節約シ得

二、彈着（効力）ノ觀測最モ容易ナルヲ以テ照尺ノ決定ニ便ナリ

距離ヲ測ルカ爲ニ一齊射撃ヲ用フルハ特ニ有利ナル塲合ニ限ルヘシ即チ目標不動ニシテ其地形觀測ニ便（其目標ノ前面ニ於ケル地形ハ一般ニ通覩シ得且目標所在地附近ノ地質容易ニ塵埃ヲ飛散シ易キ等）ニシテ且射撃セントスル部隊敵ノ有効射撃ヲ被ラサルトキ竝ニ之ニ要スル時間ノ餘裕アルトキ是ナリ然レトモ此兩要件ノ同時ニ相容レラルルコトハ殆ト絶無ト云フヘシ

（距離測定ノ爲ニスル射撃ハ單一照尺ヲ取リ同一點ヲ照準シ最初ハ目測距離ヨリ低キ照尺ヲ取リ漸次高上シテ遂ニ相當距離ニ至ル）

三、射彈ヲシテ一定ノ目標ニ集注セシメ射撃ノ間歇容易ニシテ時機ニ先ンスル射撃ヲ制止シ且其間歇時ヲ利用シテ將校ハ新部署ヲ爲スヲ得

此三個ノ利益ハ諸國ノ重大視スル所ニシテ一齊射撃主張論者ノ意亦此ニ在リ然リ而シテ一地ニ注射セラレタル一齊射撃ノ有形及無形上ノ感動（敵ノ志氣ヲ沮喪シ我志氣ヲ鼓舞ス）ハ亦大ナリ

往昔此射撃ハ騎兵ニ向ヒテ主トシテ採用セシモ馬ヲ狂焦ナラシムルハ各個射撃ノ効力優ニ大ナリ故ニ一時精神ノ沈着ヲ回復スルカ爲ニ一齊射撃ヲ用フルコトアルノミ

メッケル曰ク騎兵ノ襲撃ニ對シテハ專ラ一齊射撃ヲ用フト

露國ハ一齊射撃ヲ以テ司令部ヲ射撃スヘキコトヲ規定ス是各個射撃ヲ以テスレハ司令部ハ掩護物ニ隱レ或ハ散漫スルヲ以テナリ

（ロ）一齊射撃ノ不利　左ノ如シ

一、各個射撃ニ比シ其命中効力少ナシ

一、齊射撃ハ各個射撃（其速度大ナル モノヲ除ク）ニ比シ命中効力確實ナラス之ニ反シ其射撃速度大ナルモノニ比スレハ命中効力大ナリ

二、號令ノ貫徹困難ナリ

發射ノ轟々タル音響等ハ人聲ヲ沒シテ密集セル小隊ト雖貫徹セシムルコト難シ況ンヤ散開小隊オヤ

今茲ニ五十名若ハ七十名ヨリ成リタル小隊アリトセヨ戰鬪喧噪ノ中、音吐鐘ノ如キモノアリト雖豈ニ其號令ヲ徹底セシムルヲ得ンヤ縱ヒ衆卒一時指揮官ノ號令ニ留意スルモ戰波狂奔卒伍倒斃スルノ中一齊ニ發射シ得サルハ萬止ムヘカラサルコトニ屬ス

三、裝塡ノ熟不熟者混淆スルトキハ迅速ニ發射スルコト難シ

四、全部隊皆目標ヲ照準シタル後ニアラサレハ發射ヲ號令スルコト能ハス

五、目標ノ明不明、距離ノ遠近及兵卒ノ姿勢（伏臥ニ在リテハ發令ノ時機ヲ知ルコト難ク立射隊射サ以テスルコトハ稀ナルヘシ）ハ發射ノ號令ヲ下スノ緩急ヲ爲ス

結論○以上ノ利害ヲ比較スレハ一齊射撃ヲ戰場ニ應用スル場合ハ自然ニ制限セラル況シヤ密集部隊ノ第一線ニ現出スルコト漸ク稀ナルニ從ヒ一齊射撃モ亦自ラ稀ナルヲ得サルオヤ凡ソ射撃効力ヲ發揚セント欲セハ各兵ノ獨斷ニ委セサルヘカラス然ルニ一齊射撃ヲ奬勵スレハ指揮官及兵卒ヲ併セテ規矩中ニ檢束スルノ害アリ

一齊射撃ハ當ニ精神ノ沈着安靜ナルヘキノミナラス身體モ亦沈着安靜ナルヲ要ス而シテ此要求ハ戰場ニ於テハ到底得難キヲ常トス故ニ多少勞働シ或ハ烈シキ駈歩ヲ施行セシ後ニ於テハ決シテ其効力ヲ望ムヘカラス然ルニ歐洲諸國ニ於テハ多ク此射撃ヲ賞用シツツアレトモ獨乙ニ於テハ却テ其用途ヲ限レリ抑々戰鬪酣ニシテ兵卒ノ心神激昂スルニ際シ久シク此射撃ヲ施行スルトキハ忽チ不順序不規律ノ急射撃ニ變スルハ實驗ニ徵シテ明カナリ故ニ一齊射撃ヲ用フルハ獨リ有効ナル敵ノ射撃ヲ被ラサルトキニ於テ密集部隊及騎兵ニ對シ少時間ニ應用セラルルモノトス然ルニ往々見ル彼ノ演習ニ於テ時機ヲ選ハス距離ニ關セス猥ニ密集部隊ノ一齊射撃ヲ施シ以テ外觀ノ美ヲ衒フカ如キハ此原則ニ反スルモノト謂ツヘシ

工事ヲ施シタル防禦陣地ニ在リテハ一齊射撃ヲ用フヘキノ機アリ

散開小隊ノ一齊射撃ハ確實ニ部下ヲ掌握シアル間ノミ施行シ得ヘシ

(獨乙歩兵射撃教範第百九十一)軍隊若尚ホ未タ有効ナル射撃ヲ被ラサル間ハ特ニ半小隊或ハ一小隊ヲシテ單一照尺ヲ以テ一齊射撃ヲ行ハシメ又ハ猛烈ナル散兵射撃ヲ以テ距離ヲ測定スルヲ得ルコトアリ

○射撃ノ號令ハ第八十二ニ準ス但射撃姿勢ヲ示スコトナシ而シテ目標ハ明確ニ示シテ誤解ナカラシムルヲ要ス(同上百四十五)

(獨)操散兵線上ニ於ケル戰闘ノ喧騒ハ往々號令及命令ノ徹底ヲ困難ナラシムルヲ以テ之ヲ了解セシムル爲ニハ分隊長ヨリ他分隊長ニ傳達セシメサルヘカラス然ルニ未タ其目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ兵卒ヨリ他兵卒ニ傳達セシムヘシ命令若ハ號令ノ傳達ニ關シテハ分隊長ハ其責ニ任スルモノニシテ分隊長ハ命令ヲ受領シタルコトヲ證スルカ爲擧手ヲ行フモノトス

(同)目標ノ指示ハ散兵ヲシテ迅速ニ之ヲ發見シ得ル如クナラサルヘカラス若目標ニシテ望遠鏡ニ依リテノミ望見シ得ルトキハ地上ノ線ヲ目標トシテ指示ヘキモノトス又望遠鏡ヲ兵卒ニ順次遞傳セシムルヲ緊要トス

(獨乙歩兵射撃教範)目標ノ指示ハ成ルヘク簡單ニシテ疑惑ヲ避ケ且散兵ヲシテ速ニ發見シ得セシメサルヘカラズ目標若肉眼ニテ視ルヲ得サルトキハ(唯望遠鏡ニ依リ視ルヲ得)地區内ニ在ル某點ヲ目標點トシテ指示スヘシ時トシテハ望遠鏡ヲ順次ニ兵卒ニ遞送シテ視セシムルヲ可トスルコトアリ敵ノ部隊ヲ指示スルニハ兵卒ノ見タル通リナルヲ要ス(最外右翼ノ砲車等)

新典ニ於テハ射撃姿勢ヲ示ササルコトト爲セリ是兵卒各自適當ナル姿勢ヲ取リ以テ火器ノ効力ヲ發揚スルヲ主ト爲セハナリ之ニ由リテ益々各個教練ニ重ヲ置カサルヘカラス

○射撃ノ効力ハ射手ノ伎倆、部隊ノ狀態、距離及發射彈數特ニ射撃指揮ノ適否ニ依リ變化スルモノトス其他目標所在ノ地形及距離同一ナルトキハ主トシテ目標ノ高、幅、縦長、疎密及明暗ニ關係シ天候氣象モ亦影響ヲ及ホスモノトス(同上百四十六ノ一)

天候トハ風雨降雪等ヲ謂フ

氣象トハ乾濕、寒暖等ヲ謂フ

(獨操射撃ノ効力ハ銃數竝其正確ナル使用ニ關スルモノトス

(獨乙歩兵射撃教範)射撃ノ効力ハ

發射スル銃數

射撃ノ時間 } 發射彈數

射撃ノ速度

ヲ除キテハ概ネ射距離及目標ノ素質(高サ、廣サ、深サ、密度、及明否)目標周邊ニ於ケル土地ノ素質ハ彈着ノ觀測ヲ爲シ得ルヤ否及難易ノ度、跳彈及破碎ノ景況竝照準線ニ對スル土地ノ傾斜縱長偏避及薙射ノ大小ニ關スト雖

射撃指揮

散兵ノ能力

ハ其價値ヲ左右スルニ大ナル力アルモノトス

散兵ノ能力ハ教育射撃軍紀疲勞ノ度、身體及精神上ノ感動及狀況發射ノ正否ハ之ニ關係ス)ニ由リ其度ヲ異ニス

本條ノ說明ハ本書登射撃効力及射撃ノ緩急ノ部ヲ見ルヘシ

○射撃指揮ノ必要　射撃指揮ノ主ナル任務ハ成ルヘク多數ノ銃器ヲ決勝點ニ集注シ時間及場所ニ於テ火力ノ優勢ヲ占ムルニ在リ此優勢ヲ占ムルトキハ獨リ有形的効力(死傷)ノミナラス併セテ無形的効力(士氣ノ衰)ヲ敵ノ精神上ニ及ホシ遂ニ得テ忍耐スヘカラサルニ至ラシム輓近諸國ノ火器殆ト優劣ナク射撃教練亦甚シキ精粗ナキカ故ニ兵數相同シク彈藥數亦相同シケレハ射撃ノ指揮宜シキヲ得ルモノ必ス勝ヲ制ス射撃指揮ノ關係スル所夫レ斯ノ如シ此ヲ以テ其任ニ當ルモノハ必ス將校ナラサルヘカラス而シテ其第一位ニ在ルモノヲ小隊長ト爲ス

○射撃ノ指揮ニ關スル要件　左ノ如シ

一、射撃ノ開始及終止ヲ命スルコト

二、目標ヲ選定シ且指示スルコト

三、距離ノ測定

四、照尺ノ決定及特別ノ狀況ニ在リテハ照準點ノ決定(兩者共ニ天候ノ關係ヲ考慮スルヲ要ス)

五、射撃ノ種類及目標指示

六、彈着ヲ觀測スルコト

七、兵卒ノ戰鬪動作、狀況ニ適スルヤ否ヤヲ監視シ要スレハ修正スルコト

八、射撃軍紀ヲ維持スルコト

新典ニ於テハ字句ノ修正增補ニ依リ其意明瞭ト爲レリ

射撃指揮ノ良好ナル基礎ハ正確ナル距離ノ測定ニ在ルモノトス(同上ノ二)

新典ニ於テ新ニ增加セラレタルモノナルモ別ニ說明ヲ待タスシテ明瞭ナリトス

距離測量法ニ關スルコトハ本書(奴)防禦ニ於ケル距離測量法ヲ見ルヘシ

(獨)操良好ノ射撃指揮ニ關スル基礎ハ正確ナル距離ノ測定ニ在リ之カ爲目測ト距離測遠器ノ補助、地圖ノ閱見竝既ニ射撃シ在ル砲兵若ハ步兵ニ諮問シ之ヲ完全ニスヘシト雖全然之ヲ使用スルコトヲ得ス

(獨乙步兵射撃敎範)距離ノ檢知ハ測量機ノ補助ニ依リ最確實ナリトス其他大梯尺ノ地圖上ニテ測定シ或ハ附近ニ於テ火戰ヲ爲セル砲兵及步兵若ハ測量手ニ

就テ聞知スヘシ」小隊長ハ部下分隊長中最信任セル者ヲ以テ測量手タラシム又小隊長ハ二乃至三人ノ熟練ナル距離測量手ヲ身邊ニ置キテ測量距離ヲ報告セシメ及之ヲシテ戰場ニ於ケル密集部隊ノ現出又ハ其他ノ事項ヲ監視セシメ竝絕エス直上指揮官トノ連繫保持ニ任セシム

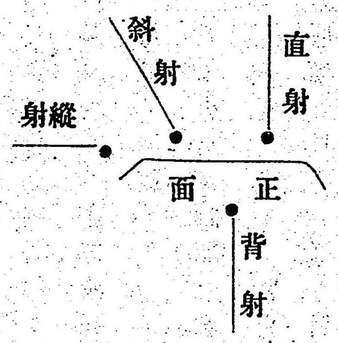
(同軍隊若尙未タ有効ナル射撃ヲ被ラサル間ハ特ニ半小隊或ハ一小隊ヲシテ一照尺ヲ以テ一齊射撃ヲ行ハシメ又ハ猛烈ナル散兵射撃ニ依リテ距離ヲ測定シ得ルコトアリ」距離檢知ニ關スル所要ノ事項次ノ如シ

目標ノ不動ナルコト、目標前ノ土地ヲ通視シ得ルコト、彈着ヲ觀測シ得ルコト及十分ナル時間ヲ有スルコト、照尺ヲ選定スルニハ先ツ發射セル彈丸ノ必ス目標前ニ落下スル如ク豫想距檢ヨリモ低キコトヲ必要トス

○近距離ニ於テハ低キ目標ト雖好成績ヲ收メ得ヘシ然レトモ中距離ニ對シテハ中距離ニ於テ好成蹟ヲ收メ得ヘキモ遠距離ニ於テハ効力少シ故ニ遠距離ニ在リテハ特ニ有利ノ目標ニアラサレハ射撃セサルモノトス(同上百四十七ノ一)

本條ハ距離ニ關スル射撃効力ヲ説ク舊典第百三十九第二項ニ該當スルモ其意義明瞭ナリ

斜射及縦射ハ距離及目標ノ如何ニ拘ラス直射ニ比シ有効ナルモノトス(同上ノ二)



本條ハ新典ニ於テ新ニ挿入セラレタルモノナリ其効力ノ大ナルヤ勿論ナリ殊ニ有楯砲兵ニ對シテ然リトス

○一目標ニ對スル射撃ノ効力ハ縦ヒ同一ナルトキニ於テモ射撃時間愈ゝ短縮スルニ從ヒ益ゝ敵ヲ震駭セシムルモノトス然レトモ此目的ヲ達スルモノハ良好ナル射撃指揮ト射撃軍紀トニシテ速度ヲ過度ニ要求スルカ如キハ寧ロ彈藥ヲ浪費スルニ過キサルモノトス(同上百四十八)

新典ニ於テハ散兵射撃ハ精密射撃ヲ主眼ト爲セリ是將來ノ戰場ハ大海ヲ超エテ彈藥ヲ運搬スルノ必要アルヲ以テ其補充ノ困難ナルニ依ル又各個射撃ノ三種速度ヲ廢セラレタルモ亦此趣旨ニ依ルナラン

新典ノ本條ハ字句ノ修正アリタルノミ

本條ハ射撃効力上必要ノ原則ヲ説ク即チ一目標ニ對スル射撃効力縦ヒ同一ナルトキニ於テモ時間少ク射撃ノ威力頓ニ猛烈ナル程敵ノ志氣ヲ沮喪スルモノナルモ之ニ反シ長時間ヲ費シ同一効力ヲ以テスル間斷ナキ射撃ハ敵ヲ震駭セシムル程度少ナク敵ヲシテ忍耐セシムルモノトス

本項ハ某時機ニ於テ一點ニ射撃ヲ集注スルコトヲ要求シ若ハ此集注點ヲ逐次ニ變換スル如ク誤解スヘカラス宜ク「射撃ノ効力縦ヒ同一ナルトキニ於テモ」ノ一句ニ注意スヘシ又「然レトモ」以下ハ前段ノ目的ヲ達スル手段ヲ示シ併セテ射撃ノ應用ヲ誤マルコトヲ豫防セリ

射撃指揮ニ就テハ已ニ述ヘタリ射撃軍紀ニ關シテハ操典第百五十五ニ於テ述フ

(獨)操射撃効力ハ時間ニ比例シテ火力ノ發揚益ゝ大ナルノミナラス敵ノ不意ニ出ツルトキハ其感應モ亦從ヒテ增大スルモノトス

(獨)乙歩兵射撃教範)凡ソ射撃効力ハ時間及目標ニ對スル彈着集團ノ度ニ由リテ

敵ノ士氣ニ及ホス程度ヲ異ニスルモノニシテ急劇ハ士氣挫折上緊要ノコトトス

○射撃ノ開始ハ必ス十分ナル効果ヲ豫期シ得ヘキトキ若ハ射撃スルニアラサレハ敵ニ接近スルニ多クノ犧牲ヲ供スヘキ場合ニ於テスルモノトス精練ナル軍隊ハ縱ヒ敵火ノ下ニ在リテモ我射撃効力ヲ現ハス能ハサルトキハ自若トシテ妄ニ射撃セサルモノナリ(同上百四十九)

新舊意味ニ變化ナシ

本條ハ攻撃前進ノ際ニ於ケル射撃開始ノ特別時機ヲ示ス蓋攻者ハ射撃開始前散兵ヲシテ成ルヘク敵ニ近接セシムルヲ原則トス是有効ナル射撃ヲ以テ戰鬪ヲ開始センカ爲ナリ然レトモ十分ナル効果ヲ豫期シ得ヘキ目標現出スルカ若ハ敵火ノ有効射界内ヲ前進スルニ方リ我損害多大ニシテ射撃ヲ行フニアラサレハ最早ヤ前進ヲ繼續スルコト能ハサルカ如キ場合ニハ此ニ射撃ヲ開始スルノ已ムヲ得サルコトヲ示ス

凡ソ過早ノ射撃開始ハ沈着ヲ缺キ信頼ヲ害シ前進運動力ヲ阻害スルノミナラス彈藥ノ消費ハ之ニ應當スル効果ヲ收得スルコト能ハスシテ其結果ハ寧ロ敵ノ自信ヲ高ムルモノトス

其他本書(知)攻守兩者射撃開始距離」ヲ參照スヘシ

敵火ノ下ニ在リテハ不知不識停止シテ之ニ應射セントスルハ人情ノ常ナリ然ルニ此後段ノ要求ヲ達シ得ハ步兵ノ訓練モ能ク其目的ヲ遂ケタルモノナルコトヲ揚言スルニ憚カラサルナリ

○彈藥ヲ適當ニ節用シ緊要ノ時機ニ臨ミ効果ヲ收ムルニ必要ナル彈藥ニ不足ナカラシムルハ特ニ注意スヘキ所ナリ然レトモ一目標ヲ射撃スルニ決セハ其目的ヲ達スルニ必要ナル彈藥ヲ用フヘシ何トナレハ効力十分ナラサル射撃ハ我カ軍隊ノ銳氣ヲ挫クノミナラス敵ノ志氣ヲ熾ナラシムルヲ以テナリ(同上百五十)

新舊語句ノ修正削除ノ爲文意明瞭ト爲レリ

火力優勢ノ素因ハ唯彈藥アルノミ彈藥ニシテ缺乏センカ步兵ノ戰鬪力殆ト消失ス是本條ヲ以テ戒心ヲ加ヘラレタル所以ナリ

凡ソ指揮官ハ彈藥消費ノ豫想額ハ其希望スル目的ヲ達シ得ルヤ否ヤ又其消費

額ニ照合シテ過當ナラサルヤ否ヤヲ顧慮スルヲ要ス而シテ其一度射撃目標ヲ決定セシ以上ハ其目的ヲ遂行スルニ須要ナル彈藥ハ徹頭徹尾使用シテ効力ヲ期セサルヘカラス從來ノ實驗ハ効力不十分ノ射撃ハ我兵ノ鋭氣ヲ挫折スルノミナラス敵ノ氣勢ヲ熾ナラシムルコトヲ吾人ニ敎示セリ

○射撃目標ハ最モ多ク我ニ危害ヲ與フルモノ若ハ速ニ殲滅スルヲ要スルモノノ如キ戰術上ノ價値ニ從ヒテ選擇スヘシ多クノ場合ニ在リテハ對抗スル敵ノ歩兵ヲ選フヘシト雖砲兵ヲ射撃スルコトモ亦忽ニスヘカラス(同上百五十一ノ一)

本條ハ戰術上射撃目標ノ選定ニ關スルコトヲ述フ而シテ新典ハ選定スヘキ目標ヲ明示セリ

戰術上射撃目標ノ選定ハ我ニ最モ多ク危害ト爲ルヘキモノ若ハ速ニ殲滅セシメントスルモノ等其價値ニ從ヒテ之ヲ判定スヘキモノナリ而シテ屢〻目標ヲ變換スルトキハ我射撃効力ヲ分散シ命中効力ハ第二義ニ屬ス換言スレハ戰術ノ要旨ニ合セサル射撃目標ハ縱ヒ良好ナル命中公算アルモ之ヲ選定スヘキモノニアラサルナリ例ヘハ某部隊其正面近距離ニ於テ敵ト相對峙スルトキ敵ノ首力ハ我一翼ニ向ヒテ攻勢ニ轉スルトキハ縱ヒ其距離稍々遠キモ他ノ命中効力アル目標ヲ棄テ戰術上此敵ヲ射撃セサルヘカラサルカ如シ

一般ニ我ト對抗スル敵ノ歩兵ハ至要ニシテ且効力多キ目標タルヘシ何トナレハ歩兵ハ通常目標ト爲リ易ク且勝敗ヲ決スルモノハ特ニ此兵種ニシテ此兵若大ナル損害ヲ受クレハ他兵(騎砲)アリト雖其力ヲ逞クスルコト能ハサルニ依ル殊ニ敵ノ歩兵多少有効射撃ヲ爲シツツアルトキハ常ニ然リトス斯ノ如キ場合ニ在リテハ我歩兵ハ之ヲ棄テ他目標ニ向ハント欲スルモ能ハサルモノトス

敵ノ砲兵ヲ射撃シ得ルハ甚稀有ノ場合ナルヘシ然レトモ俄然敵ニ衝突セシトキ又ハ有利ナル戰鬪ノ最後ノ時期ニ於テハ此機會ナシトセス而シテ一般ニ戰鬪ノ經過中ニ於テハ砲兵ハ歩兵ノ爲ニ掩護セラレ此歩兵ハ敵ノ歩兵射撃ヲ悉ク自己ニ牽引スルモノトス若戰術上ノ要旨ニ適シ且射撃効力アル目標ヲ選定スルヲ得ハ頗ル妙ナリ

(獨操)射撃中ニ任ル散兵線ニ對シ後方ヨリ增加スル援隊ニ對シテハ常ニ目標變

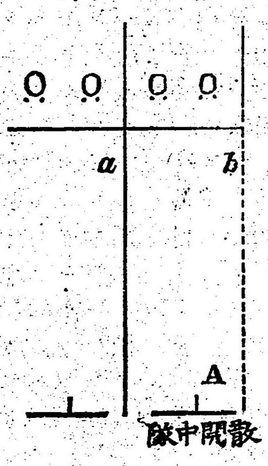
換ハ行ハサルモノトス何トナレハ被彈地ノ縱長ニ依リ彼自ラ危險界ヲ通過セサルヘカラサレハナリ(日本歩兵射撃教範改正草案第百二十三ノ二)

目標ヲ示スニハ敵ノ正面内ニ於テ中隊ノ射撃スヘキ部分ノ限界ヲ以テスルヲ可トス特別ノ場合例ヘハ放列又ハ間隔ヲ開キタル狹正面ノ密集部隊ニ對スルカ如キトキニ在リテハ小隊時トシテ若干分隊毎ニ區分スルヲ必要トスルコトアリ(同上)

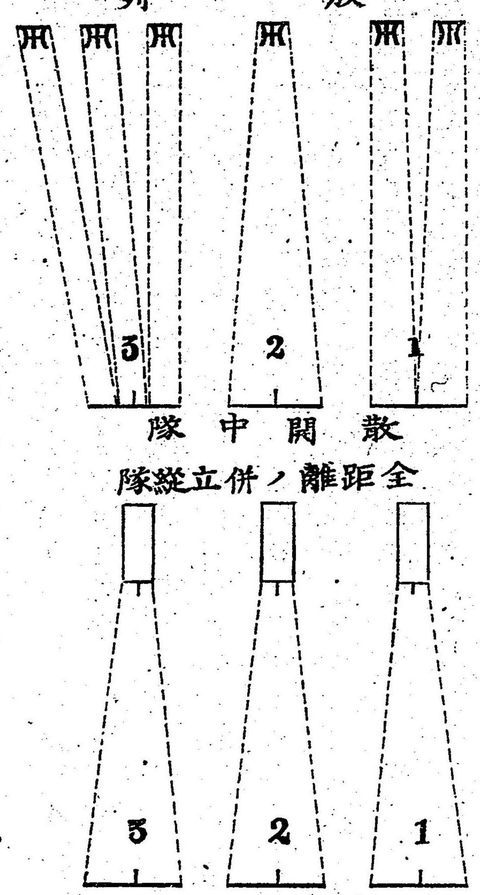
(二)

本文ハ新ニ挿入セラレタルモノナリ即チ一般ニ中隊ニ射撃スヘキ界限例ヘハ第一圖ニ於テA中隊ハab間ヲ射撃スルトセハ此限界a及bヲ示スモノトス是中隊ノ射撃スヘキ部分ニ平等ニ射彈ヲ散布センカ爲ナリ然レトモ特別ノ場合例ヘハ放列(第二圖)又ハ間隔ヲ開キタル狹正面ソ密集部隊(第三圖)ニ對スルカ如キ場合ニ在リテハ間隔内ニ落ツル彈丸ハ効力ナキヲ以テ小隊時トシテ若干分隊ニ區分シテ射撃セシムルヲ必要トスルコトアリ

第一圖



第二圖



第三圖

目標ヲ示スニハ隣接中隊ノ目標トノ間ニ空隙ヲ存セサルコトニ注意スヘシ是敵ノ一部ト雖我カ射撃ノ制壓ヲ免レシメサルコト緊要ナレハナリ又目標ハ狀況之ヲ許セハ未タ射撃ヲ始メサルニ先チ豫メ之ヲ示シ置クヲ可トス(同上)

新典ニハ「又目標ハ狀況之ヲ許セハ未タ射撃ヲ始メサルニ先チ豫メ之ヲ示シ置クヲ可トス」ヲ加ヘラル是必要ナル注意ナリトス

本條ハ目標ノ指示ニ關スル規定ヲ示ス蓋此指示ハ射撃指揮中重要ナル事柄ニシテ其方法ノ適切ヲ要スレハナリ

(獨、操、獨乙歩兵射撃教範)射撃スヘキ目標ノ全正面ニ對シ射撃ヲ平等ニ分配スルコト特ニ緊要ナリ之カ爲下級指揮官ニ射撃分配區域ヲ詳密ニ指示スルヲ要ス分界ハ互ニ稍々侵略(重複)スルヲ可トシ決シテ其間ニ空隙ヲ存スヘカラス

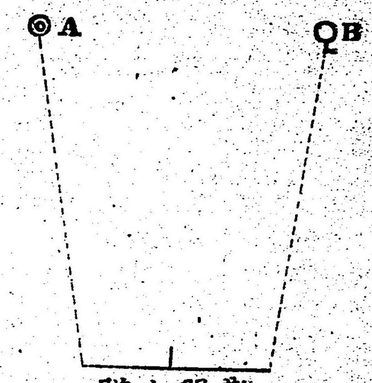
目標ノ指示困難ナルトキハ其近傍ノ地物ヲ示シテ其補助ト爲スヘシ又視エ難キ目標(第一圖)ニ在リテハ其目標ト同高ニシテ其前後ニ在ル地物例ヘハ目標ノ後ロニ在ル森ノ下際ノ如キ補助目標(第二圖ヲ照準セシムルコトアリ(同上ノ四)

本條ハ歩兵射撃教範改正草案ヨリ新ニ轉入セラレタルモノナリ

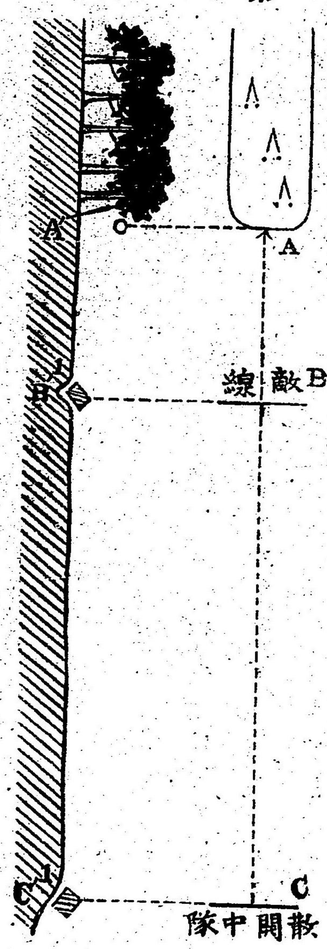
同°高°トハ目標高ノ意ニアラスシテ同一線上ト見ルヘシ

第一圖

指示困難ナル目標



第二圖



A B ニヨリ指示ノ例

A ハ萱ノ穂

B ハ獨立樹

中隊ノ射撃目標ハ「斜メ右獨立樹指示ノ例ヨリ指一本左ノ敵ヨリ、斜メ左萱ノ穂ノ延線ニ亘ル間ノ敵」

A′B′C′ハ同一線内ニ在ルヲ要ス

此時A即チ森林ノ下際ヲ照準ス

此例ハ後方ニ在ル地物ノ場合ヲ示ス

目標ハ特ニ必要ナル場合ニアラサレハ變換スヘカラス是屢〻目標ヲ換フルトキハ射撃ヲ錯亂スルヲ以テナリ(同上ノ五)

新舊兩典意義ニ變化ナシ

本項ハ理由ナキ目標變換ノ不利ナルヲ戒ム

屢〻目標變換ノ不利　兵卒ハ頻繁ナル目標及照尺ノ指示ハ號令ヲ誤解シ照尺若ハ目標ヲ誤聞シ爲ニ紛亂錯雜之ヨリ生スルニ至ルヘシ故ニ一旦射撃ヲ命セシ目標ハ其効力ヲ現出シタル後ニアラサレハ之ヲ變換セサルハ射撃一般ノ原則トス然レトモ戰術上ノ目的等ニ依リ變換ヲ爲スヲ要スルトキハ例外トス

○「照尺ヲ定ムルニハ測定セル距離ヨリ天候ニ依リ增減スヘキ距離ヲ加減シ以テ集中彈ノ中央部ヲ目標ニ導ク如クスルヲ要ス(同上百五ノ一)

新ニ挿入セラレタルモノナリ天候ノ射距離ニ影響ヲ及ホスコトハ頗ル大ナリ宜ク「登」射撃効力及射撃ノ緩急」ノ部ヲ見ルヘシ

距離ヲ確知シ難キトキ遠キ距離ニ在リテハ百米ノ差アル二種ノ照尺ヲ用フルヲ可トス(同上ノ二)

新ニ射撃敎範ヨリ轉入セシモノナリ但敎範ニハ八百米以上ナル距離ヲ示シアルモ之アルカ爲ニ之ニ拘泥シ常ニ八百米以上ニ於テハ之ヲ用フルモノト誤解スルヲ以テ此數ハ削除セラレタルモノナリ

「邊」部隊射撃ニ於ケル混用照尺ノ用法」ヲ見ルヘシ

目標ニ對スル上下ノ修正ハ照尺ノ變換ニ依リテ之ヲ行フモノトス(同上ノ三)

新ニ挿入セラレタルモノナリ

上下ノ修正ハ照準點ノ變換ニ依ラスシテ照尺ノ遊標ヲ上下シテ之ヲ行フヘキモノトス從ヒテ照準點ハ之ヲ下際ニ取ルヘキモノトス然レトモ騎兵ノ襲撃ニ對シテハ中距離以上ナレハ五百米ノ照尺以內ナレハ固定照尺ヲ用ヒ照準點ノ變換ニ依リ命中ヲ期スルヲ常トス是此場合ニ於ケル照尺ノ變裝ハ時間ヲ要シ其間騎兵ハ速力ヲ利用シテ近接スレハナリ

距離ノ測定ハ多クノ場合ニ於テ目測ニ依ラサルヘカラス然レトモ距離測量器ヲ用ヒ又ハ其近傍ニ於テ射撃スル砲兵若ハ步兵ニ問ヒ若ハ地圖ヲ案シテ目測ヲ補

助スルヲ要ス(同上百五十三ノ一)

新舊意義ニ變化ナシ但多クノ場合目測法ニ依ルヘキコト及地圖ヲ案シテ目測ヲ補助スルコトヲ要スルコトノ挿入ニ依リ明瞭ト爲レリ

本書「(奴)防禦ニ於ケル距離測量法」ヲ見ルヘシ

(獨、操)良好ノ射撃指揮ニ關スル基礎ハ正確ナル距離ノ測定ニ在リ之カ爲目測ト距離測遠器ノ補助、地圖ノ閲見竝既ニ射撃シ在ル砲兵若ハ歩兵ニ諮問シ之ヲ完全ニスヘシト雖全然之ヲ使用スルコトヲ得ス

(獨乙歩兵射撃教範)距離ノ驗知ハ測量器ノ補助ニ依リ最確實ナリトス其他大梯尺ノ地圖上ニテ測定シ或ハ附近ニ於テ火戰ヲ爲セル砲兵及歩兵若ハ測量手ニ就テ聞知スヘシ」小隊長ハ部下分隊長中最信任セル者ヲ以テ測量手タラシムヘシ又小隊長ハ二乃至三人ノ熟練ナル距離測量手ヲ身邊ニ置キテ測量距離ヲ報告セシメ及之ヲシテ戰場ニ於ケル密集部隊ノ現出又ハ其他ノ事項ヲ監視セシメ竝絶エス直上指揮官トノ連繫保持ニ任セシム

(同)軍隊若尚未タ有効ナル射撃ヲ被ラサル間ハ特ニ半小隊或ハ一小隊ヲシテ一照尺ヲ以テ一齊射撃ヲ行ハシメ又ハ猛烈ナル散兵射撃ニ依リテ距離ヲ測定シ得ルコトアリ」距離驗知ニ關スル所要ノ事項次ノ如シ

目標ノ不動ナルコト、目標前ノ土地ヲ通視シ得ルコト、彈着ヲ觀測シ得ルコト

十分ナル時間ヲ有スルコト

(同照尺ヲ選定スルニハ先ツ發射セル彈丸ノ必ス目標前ニ落下スル如ク豫想距離ヨリモ低キコトヲ必要トス

既ニ射撃シアル部隊ノ指揮官ハ新ニ戰鬪ニ加ハル指揮官ニ其距離ヲ告クルノ義務アルモノトス(同上)

新典ニ新ニ挿入セラレタル條項ナレトモ從來實際此事ハ施行セラレツツアリタルモノナリ

射撃効力ノ觀測ハ最モ必要ナリ是絶エス彈著ヲ注視シ且敵ノ狀態ヲ視察スルトキハ之ニ依リテ射撃指揮ヲ適當ナラシムルコトヲ得ルヲ以テナリ(同上百五十五)

(獨、操)望遠鏡ヲ利用シテ絶エス射撃効力ノ觀測ヲ行フヲ以テ必要ト爲ス彈着竝敵ノ動作ニ由リ指揮官ハ自己ノ處置適當ナルヤ否ヤヲ探究セサルヘカラス」火

線上ヨリ直接ニ觀測ヲ爲スコト能ハサルトキハ側方若ハ後方ニ觀測者ヲ配置シ其認識スル所ヲ豫メ規定セル記號ニ依リ報告セシムルモノトス

本條ハ改正草案ト異ナル所ナシ唯字句ノ修正アルノミ但草案ハ其第二項ニ於テ「火線ヨリ直接ニ觀測スルコト能ハサルトキハ適當ノ位置ニ特別ノ觀測者ヲ配置スルヲ良トス」ト其方法ヲ示セシモ新典ハ之ヲ削レリ是斯ル方法ハ之ヲ實施者ニ任スルヲ適當トスルヲ以テナラン

射撃効力ノ區別及其影響

本條ハ射撃効力觀測ノ必要ヲ示ス

射撃効力ニ二種アリ曰ク有形効力曰ク無形効力(死傷)ハ戰鬪ノ稍々大ナルモノニ於テハ戰鬪參與人員ノ百分ノ十乃至二十ニ居ルヲ常トシ就中某部隊ハ百分ノ五十乃至六十以上ニ至ルコトアリ歐洲ノ某戰術家ハ其著書戰術論ニ述ヘテ曰ク攻者掩護物ナキ開濶地ヲ前進スルコト八百米ナルトキハ平均百分ノ十五ノ死傷ヲ生シ更ニ增加シテ百分ノ二十六ニ至レハ攻撃挫敗スト要スルニ其有形効力大ナルトキハ衆心恐怖スルハ免ルヘカラサルナリ(バルク氏戰術)

無形ノ効力ニ感スルニ二樣アリ一ハ始終兵卒ノ胸中ニ抱ク所ノ恐怖心ノ累積スルモノニハ突然大ナル死傷ヲ生シ爲ニ一時發スル所ノ驚怖是ナリ歐洲ノ戰例ニヨレハ敗兵ノ中ニハ唯此無形ノ効力ニ由リ敗走スルモノ過半ヲ占ムバルク曰ク戰場ニ於テ衆卒危惧ノ狀態ハ左ノ形跡ニ依リ判知スルコトヲ得ト

一、戰術的團結ノ弛緩

二、諸隊ノ兵ノ混淆

三、隊伍解體シテ秩序ナキ集塊ト爲ル

射撃効力ノ觀察

此觀測ハ射撃ノ指揮ニ關スル最モ困難ナル任務ノ一ナリ而シテ此觀測ハ豫想外ニ容易ニ施行シ得ルコトアリ即チ熟練ナル觀測者ハ雷容易ニ塵埃ヲ揚起スヘキ土地ノミナラス草木ノ成長シテ飛埃ノ生起シ難キ土地ニ於テモ亦彈着點ヲ觀測シ得ルモノナリ

戰場ニ於ケル觀測ハ射撃場ニ於ケルヨリモ大ニ容易ナリ何トナレハ射撃ノ効力ハ活目標ニ對スルハ死標的ニ比スレハ往々明瞭ニ現出スルヲ以テナリ

敵火ノ狀況ハ觀測ノ補助ト爲ル即チ敵火ノ効力及其劇烈ノ程度、終始不變ニシ

テ間斷ナキ射撃ヲ受クルトキハ我射撃ハ未タ効力ヲ呈セサルヲ知リ得ヘシ

彈着點ヲ觀測スルニ當リ最モ必要ナルハ目標前ニ反跳スル彈數ヲ總發射彈數ニ比較スルニ在リ此際誤謬及不正ノ決定ヲ生シ易シ即チ不熟練ナル觀測手ハ通常目標前ニ甚シク塵埃ノ起ルヤ直ニ「近シ」ト呼フモ是必スシモ然ラサルヲ以テナリ又目標前ニ反跳スル彈數甚少キトキハ確ニ遠キヲ知リ得ヘシ準備セル防禦陣地ニ於ケルカ如ク距離ヲ精密ニ知得シ得ルトキト雖亦觀測ヲ缺クヘカラス(以上バルク戰術抜萃)

○觀測ノ方法

火線ヨリ直接ニ觀測スルコト能ハサルトキハ適當ノ位置ニ特別ノ觀測者ヲ配置スルヲ可トス

適宜ノ位置トハ側方又ハ後方ニ在ル瞰臨地等ノ如キモノヲ謂フ

斯ノ如キ地點ニ出サレタル觀測手ノ報告ハ豫メ約束セル記號呼聲傳令殊ニ遞歩哨ニ依リテスルヲ便トス

○凡テ射撃軍紀正シク敎育能ク至レル兵卒ハ敵火ノ下ニ在リテ其長ノ命令ヲ嚴守シ確實ニ射撃ノ諸法則ヲ實行シ地物ノ利用及發射ノ時機ニ注意シ常ニ其指揮官及敵兵ニ留意シ目標消滅スルカ或ハ射撃中止ノ號令アルトキハ直ニ之ヲ中止シ又縱ヒ總テノ幹部ヲ失ヒ射撃指揮行ハレサル場合ニ於テモ各自ノ思慮ト判斷トニ基キ依然射撃ノ効力ヲ維持シ得ルモノナリ(同上百五十五)

(獨操)射撃軍紀ハ射撃ノ指揮ヲ補綴スルモノトス即チ火戰ニ於テ下ス所ノ命令ヲ確實ニ實行スルコト竝火器ノ使用及戰鬪上ノ動作ニ關スル規定ノ法則ヲ嚴格ニ遵奉スルコトヲ含有ス「地形ノ利用照尺ノ裝置及發射ニ關スル注意指揮官竝敵兵ヲ絶エス注視スルコト目標ニ對シ好機會ヲ利用シテ獨斷以テ射撃速度ヲ速ムルコト敵兵消滅スルトキハ獨斷以テ射撃ヲ中止スルコト及彈藥ノ節用モ亦此ニ屬ス戰鬪經過中射撃指揮ヲ完全ニ實行スルコト能ハス若ハ全ク該指揮ノ止ミシトキハ各兵ハ思慮ト判斷力ヲ有シ且獨斷以テ目標及照尺ヲ選擇セサルヘカラス獨斷動作ヲ喚起セシカ爲射撃指揮ナキ戰況ニ習熟セシメ且斯ノ如キ場合ニ於テ正當ノ動作ヲ行ヒ得ルコトヲ敎育セサルヘカラス

射撃軍紀ノ要求スル條項左ノ如シ

一、敵ノ射界內ニ在リテ我未タ應射(答射)セサルトキト雖屹然不屈ナルヘキコ

ト(沈着堅忍)

二、常ニ其指揮官及敵兵ニ注意スルコト(射撃ニ關スル戰鬪動作ヲ實行スルモノ)

三、地形ノ利用及發射ノ時機ト方法ニ注意スルコト(射撃ニ關スル戰鬪動作ヲ實行シ銃ノ使用法ヲ嚴守スルモノ)

四、射撃目標消滅スルカ指揮官ノ號令或ハ小笛ヲ聽クカ若ハ其他ノ方法ニ依リ射撃停止ノ命令アルトキハ速ニ之ヲ實行スルコト(射撃ニ關スル戰鬪動作ヲ實行スルモノ)

新典ニ於テハ大ニ文意ヲ修正シ以テ敎育完全ニシテ射撃軍紀正シキ場合ノ結果ヲ示セリ之カ爲本條ハ從來射撃軍紀ノ說明ノ如ク解セラレシモ明瞭ト爲レリ

射撃軍紀ハ射撃指揮ノ不及ヲ補綴スルモノニシテ射撃指揮行ハレサルニ至リテモ此軍紀到レハ射撃ノ効力ヲ維持シ得ルモノナリ

(呂)彈丸ノ効力

○隊伍ニ對シ用フル彈丸ハ二種ノ効力ヲ有ス人馬殺傷ノ効力及志氣上ノ効力是レナリ

○人馬殺傷ノ効力　彈丸ハ目標ニ到達スルトキ有スル活力ヲ以テ目標ニ侵徹スル而シテ人馬殺傷ノ爲ニハ小銃彈ニ在リテハ大ナル侵徹力ヲ要シ砲彈ニ在リテハ多數ノ彈子ヲ有シ且所要ノ活力ヲ有セサルヘカラス

○志氣上ノ効力　志氣上ノ効力ハ敵ニ及ホス恐怖ノ感情竝我快戰奮鬪ノ感情ナリ甲ハ彈丸或ハ彈子破片ノ飛鳴破裂ノ音響竝戰慄スヘキ疵傷等ニシテ乙ハ我砲彈ノ頭上ヲ通過スルニ依リ或ハ此等彈丸カ敵ニ與フル損害ニ依リテ起ルモノトス

(波)現用火器ノ被彈地

○第一表(歩兵火)(三十年式歩兵銃効力表ニ據ル)

(甲)

部隊射撃被彈地ノ幅員(縦長及幅)表

幅員／距離 (米)	縦長 (米)	幅 (米)
600	412	6,00
700	364	6,88
800	324	7,84
900	292	8,88
1000	267	10,00
1100	248	11,20
1200	234	12,48
1300	224	13,84
1400	218	15,28
1500	214	16,80
1600	212	18,40
1700	212	20,08
1800	212	21,84
1900	212	23,68
2000	212	25,60
均平	256,5	14,97

此表ニ依レハ三十年式歩兵銃集束彈道ノ被彈地ハ中距離以外ニ於テ大約縦長二百五十米、幅十五米ニシテ近距離ニ在リテハ更ニ増大シ又射撃速度ノ増加ト共ニ著シク増大スルモノトス

部隊射撃ニ於ケル被彈地ノ中央ニシテ總射彈ノ四分ノ三ヲ收容スヘキ稠密部ハ射距離ノ異ナルニ從ヒ其縦長ヲ變ス而シテ水平地上ニ於テ中等射手ノ成績概ネ左ノ如シ(歩兵射撃教範草案第百二十二)

縦長	距離
91米	600米
85	700
78	800
72	900
67	1000
62	1100
58	1200
56	1300
54	1400
53	1500～2000

總射彈ヲ收容スル稠密部

射撃部隊中若不正確ノ射撃ヲ爲スモノ多キトキハ此被彈地ノ縦長ヲ増加シ目標ニ對スル効力ハ減少スルモノトス

○第二表砲彈(士官學校兵器學教程ニ據ル)

三十一年式速射砲基本破裂點ニ於テ破裂スル曳火榴霰彈ノ散飛帶及効力界左ノ如シ

射距離(米)	砲種	曳火榴霰彈一彈ノ散飛帶、効力界
1000	野砲	
2000		
3000		
4200	山砲	
1000		
2000		
3000		

(仁)歩兵中隊各種隊形命中成績表

○火器ノ効力ハ歩兵ノ隊形選擇ノ一動力タリ今左ニ歩兵中隊ノ各種隊形ニ對スル歩砲兵彈ノ命中効力ヲ示ス

(一)歩兵火(三十年歩兵銃効力表ニ據ル)

歩兵部隊射撃ノ密集歩兵中隊ニ對スル命中百分數

番號 / 目標ノ種類 / 目標距離(米)	I 中隊横隊(正面百名幅六十米) 立	膝	伏	II 中隊縦隊(一百二十名員) 立	膝	伏	III 併立縦隊 立	膝	IV 全間隔併立縦隊 立	膝
600	23,6	16,7	7.1							
700	20,8	14,3	6,2							
800	18,8	12,6	5,4	20,8	15,7	8,0	20,4	15,0	19,6	14,4
900	16,0	10,8	4,6	19,0	14,5	7,5	18,6	14,9	16,8	12,5
1000	14,5	9,7	4,1	17,6	13,5	7,3	17,0	13,0	14,4	11,0
1100	12,8	8,6	3.7	16,2	12,7	7,1	15,5	12,3	12,4	9,8
1200	11,2	7,5	3,2	15,2	11,9	7,0	14,5	11,4	10,4	8,4
1300	10,0	6,8	2,9	14,0	11,2	6,7	13,7	11,0	9,0	7,0
1400	8,8	5,8	2,5	12,7	10,3	6,4	12,8	10,7	7,9	6,6
1500	7,2	4,8	2,0	11,4	9,5	6,1	12,0	10,0	6,9	5,8
1600	6.5	4,3	1,8	10,3	9,0	6,0	11,4	9,6	6,0	5,2
1700	5,5	3,7	1,5	9,5	8,4	5,7	10,7	9,3	5,4	4,7
1800	4.8	3,2	1,3	9,0	7,7	5,5	10,0	8,5	4,8	4,2
1900	4,0	2,6	1,1	8,3	7,2	6,3	9,2	7,8	4,2	3,5
2000	3,5	2;5	1,1	7,6	6,8	4,9	8,2	7,4	3,6	3,2
均平	11,22	7,59	3.23	13,20	10,64	6,42	13,38	10,83	9,33	7,42

効力界ノ縦長 馬ニ對シ	人ニ對シ	散飛帶 幅(米)	縦長(米)
240	420	22,4	1000
210	390	22,4	560
190	370	22,4	390
150	150	21,7	150
160	350	14,8	370
100	100	14,5	110
50	50	14,0	50

V	
中隊縱隊ノ側面	
立	膝
28,6	23,9
25,6	22,0
22,9	20,3
20,4	18,6
18,5	17,0
16,8	15,5
15,2	14,2
13,8	13,0
12,7	12,0
11,4	10,9
10,4	9,9
9,2	8,9
8,2	7,9
16,43	14,16

中距離ニ在リテ中隊縱隊ノ第一線部隊ヲ超過スル彈丸ハ其後方諸部隊ニ命中スルコト甚少ナシト雖遠距離ニ在リテハ彈道ノ彎曲漸ク大ナルヲ以テ其命中度顯ル大ナリ(II欄參照)概シテ中隊縱隊ハ同人員ノ橫隊ヨリモ損害多キモノトス(III欄參照)

表ノ示ス所ニ依レハ中隊ノ隊形中敵彈ヲ被ル最モ少ナキハ橫隊ニシテ最モ多キハ側面縱隊ナリ然トモ本表ノ成績ハ各隊形正面ノ中央ニ集束彈道ノ平均點ヲ導キシトキノ結果ナリ故ニ直ニ之ヲ以テ兩隊形ノ損害ノ度ト爲ス能ハサルヘシ蓋側面縱隊ハ同一人員ノ橫隊ヨリ其正面遙ニ狹小ナルヲ以テ方向上ニ於ケル照準其他ノ些少ナル誤差モ平均點ヲ偏移シテ損害ヲ減少セシムレハナリ

此理由ニ基キ併立縱隊ハ各小隊ノ間隔ヲシテ集束彈道幅ノ二分ノ一以上ナラシムレハ著シク其損害ヲ減少シ得ヘシ尙III VI欄ヲ比較スレハ其一般ヲ窺フニ足ルヘシ

(二)砲彈(バルク戰術)

隊形＼項目	全兵員ヲ斃スニ要スル彈數	三千米ノ距離ニ於テ5%ヲ斃ス爲ニ要スル彈數			備考
		破裂距離二十五米	同上	百米	平均	
中隊ノ四列側面縱隊	同上	二二	三、〇	一七、一	一〇、〇	第一段ハ佛國ノ試驗 第二段ハ墺國ノ某書ニ依ル 第三段ハ墺國九珊知榴霰彈ヲ以テシタルモノ 表中中隊ノ四列側面縱隊ニ對スル平均十發及中隊縱隊ニ對スル四十發ハ稍々疑シ蓋縱隊ヲ觀測スルコト橫隊ヨリ難キハ勿論ナリト雖一丸苟クモ之ニ命中スレハ其効力大ナレハナリ
中隊縱隊	二四	四〇	一、七	七、七	四、七	
中隊ノ橫隊 二列 一列	三〇 三六	三〇 三二	七、〇	三、〇	九、五	
併立縱隊(距離二十米四小隊編成)	五四	五四	五、四	或ハ三六、〇 二〇、〇	或ハ二〇、〇 二二、〇	
半小隊ヲ以テセル同上ノ隊形	九六 九〇					

(保)騎兵及砲兵部隊ニ對スル歩兵火ノ効力

○三十年式歩兵銃効力表ニ據リ歩兵部隊射撃ノ騎兵及砲兵部隊ニ及ホスヘキ効力(命中百分數)ヲ左ニ示ス

(イ)騎兵部隊ニ對シ

歩兵部隊射撃ノ騎兵部隊ニ對スル命中百分數表

目標ノ種類 ＼ 目標距離(米)	300	400	500	600	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000
騎兵中隊横隊(正面六十騎)	32,1	29,2	26,0	23,0	20,6	18,5	16,4	14,6	12,9	11,6	10,0	8,8	7,6	6,6	5,8	4,9	4,4	3,7
騎兵小隊横隊(正面十七騎)	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	6,5	5,6	4,7	4,2	3,5

備考 部隊内ニ於ケル騎兵一ハ一米ト算ス故ニ中隊ノ横隊正面ハ六十米、小隊ノ横隊正面ハ十七米ナリ

(ロ)砲兵中隊ニ對シ

歩兵部隊射撃ノ砲兵中隊ニ對スル命中百分數

番號 ＼ 目標ノ種類 ＼ 目標距離(米)	I 砲兵中隊陣地進入(人馬共)正面百米	II 砲兵中隊放列(人員)正面百米	備考
800	14,6	5,6	I ニ於ケル標的中三砲車ハ行進中ノ正面的ヲ、他ノ三砲車ハ轉回ノ爲正ニ側面ヲ向ケタル如ク側面的ヲ現ハセルモノナリ而シテ放列正面内ニ於ケル人馬ノ姿勢ヲ細別スレハ左ノ如シ
900	12,4	4,8	
1000	11,2	4,3	
1100	9,9	3,8	立姿正面四四　乘馬正面二三　馬匹正面六　乘馬側面九
1200	8,7	3,4	
1300	7,7	3,0	II ハ放列ニ於ケル人員ノ姿勢ヲ現ハセリ
1400	6,8	2,6	
1500	5,6	2,2	
1600	5,0	1,9	
1700	4,3	1,7	
1800	3,7	1;4	
1900	3,1	1,2	
2000	2,8	1,1	

○前二表ニ依レハ騎兵隊ニ對スル命中ハ殆ト立姿歩兵中隊ノ横隊ニ對スル命中(前掲(c)歩兵中隊各種隊形命中成績表參照)ニ等シク砲兵ニ對スル命中ハ大ニ減少シ陣地ニ在ル砲兵ハ殆ト伏姿中隊ノ横隊ニ等シク陣地ニ進入シツツアル砲兵ハ好目標ヲ呈スト雖尚膝

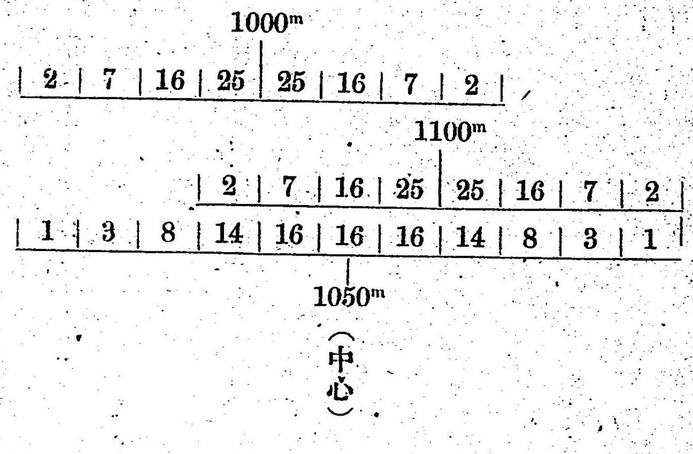
姿歩兵中隊ノ横隊ニ及ハス然レトモ繋駕砲兵各砲車ノ間隔ヲ閉縮セハ其命中度騎兵隊ト大差ナカルヘシ

(邊)部隊射撃ニ於ケル照尺ノ用法(單一照尺及混用照尺)

三十年式歩兵銃ヲ以テ射撃スルトキハ遠距離ニ於テモ距離ヲ確知シ得ルトキハ單一照尺ヲ用ヒ之ニ反シ確知シ難キトキハ百米ノ差アル二種ノ照尺ヲ混用スルヲ可トスルコトアリ(歩兵射撃教範改正草案第百二十三射撃指揮ノ部參照)是精確ニ距離ヲ知得シアルトキハ二種ヲ用ル必要ナキモ遠距離ニ於テハ距離測量困難ニシテ精確ヲ期スヘカラサルノミナラス被彈地ノ核心漸次縮少スルヲ以テ(前述現用火器ノ被彈地參照)混用照尺ヲ用ヒテ其不利ヲ醫センカ爲ナリ

小隊ヨリ小ナル部隊ニ於テハ混用照尺ヲ取ラシムルモ利益ナシ是小數ノ射彈徒ニ散布スルヲ以テナリ

八百米以上ノ距離ニ在リテハ被彈地ノ平均縱長ハ二百四十米ナリ今千米、千百米



ノ混用照尺ヲ用フルモノトスレハ其差百米ハ公算躲避ノ約三倍ニ相當スルカ故ニ散布梯尺ニ依ルトキハ其射彈散布ノ景況上圖ノ如シ而シテ被彈地中心ノ前後各七十五米ハ一段濃密ト爲リ若照尺ノ差公算躲避ノ八倍ナルトキハ各照尺ニ相當スル散布ハ區々ナルヘシ若照尺ノ差遞減スルトキハ散布ハ近接重疊スヘシ若又照尺ノ差公算躲避ノ三倍ナルトキハ地上ニ等シク散布スヘシ故ニ各種照尺ヲ混用スルトキハ公算躲避ノ三倍ヨリ以上ノ差ヲ取ラサルヲ利益アリトス是最大照尺ト最小照尺トノ間ニ於ケル中心ノ位置ハ集合射撃ノ中心ヲ置カントスル距離ニ在ルヲ利トス

スレハナリ實際ニ在リテハ百米ノ差アル照尺ヲ取ルモノトス

(登)射撃効力及射撃ノ緩急(速度)

○射撃効力及射撃ノ緩急ニ關スル事項ヲ左ニ論述セントス而シテ射撃ノ緩急ニ關シテハ新操典ハ之ヲ指揮官ニ委然主宰セシメシモ改正草案ニ於テハ兵卒ニ要求スルヲ趣旨トセリ

○發射彈數及射撃指揮ノ關係ヲ除ケハ左ノ事項ハ射撃効力ヲ左右ス

射手ノ伎倆　ハ射撃効力及射撃ノ緩急ニ大ナル關係ヲ有スルハ論ヲ待タス即チ熟練ナル射手ハ例ヘハ百米過近ノ照尺ヲ以テ射撃スレハ彈丸ノ大部ハ目標前ニ落下スヘシ又射手熟練スレハ照準時間減少スルヲ以テ自然速度ヲ大ニス而シテ速度ノ大ナルニ比シ命中減スルコトナシ換言スレハ熟練ナル射手ハ同一時間ニ於テ大ナル命中効力ヲ期シ得ヘシ、

初テ戰闘ニ臨ム兵卒ノ射撃ハ動モスレハ急遽ニ失スルモ老練ナル兵卒ハ其効力ヲ速度ニ求メスシテ之ヲ命中ニ期ス射撃ノ指揮ニ困難ナルハ其速度ヲ增加スルニアラスシテ寧ロ之ヲ抑留シテ適當ナラシムルニ在リ急射久シキニ亘ルニ從ヒ

視力及腕力疲勞シ銃身熱シ射撃ノ精度ヲ害スルコト多シ

部隊ノ狀態　例ヘハ強行軍ノ後直ニ火戰ヲ爲スカ、前日來ノ劇勞其他ノ事故ノ爲疲勞シアルカ、退却戰闘ナルカ、追撃戰ナルカニ從ヒ體力及精神上ノ交感ノ爲効力ヲ左右ス

目標ノ遠近(距離)及大小(厚、幅、縱、長)ニ由ル射撃効力　目標ノ遠近ト其大小トハ其意義全ク合一スルコトアリ何トナレハ大ナル目標モ距離遠ケレハ小トナルヲ以テナリ

目標ノ遠近及大小ハ射撃効力ニ關スルコト大ニシテ之カ爲射手ヲシテ速度ノ緩急ヲ規正セシムルコトヲ要求ス以下述フルモノハ戰術上ノ顧慮ヲ除キ單ニ射撃効力上ヨリ論スルモノトス

遠距離射撃　精良ニシテ其射距離大ナル銃器ヲ以テ遠距離ヨリ射撃ヲ開始シテ往々良効果ヲ奏セシコトハ戰史ニ見ル所ナリ而シテ此良効果ヲ奏スルハ我銃器敵ニ優ルカ或ハ敵兵我ニ對スル處置ヲ爲シ能ハサルカ如キトキニ於テ殊ニ著シトス然レトモ過遠ノ射撃ハ防者ニ在リテハ多少敵ニ損害ヲ與ヘテ攻者ノ前進ヲ

阻滯スト雖到底之ヲ殲滅シ能ハザルノミナラス左ノ不利アリトス

一、守者ニ在リテハ志氣沮喪シ攻者ニ在リテハ其攻撃前進澁滯シ易シ

二、巨多ノ彈藥ヲ要シテ其効力相償ハス且彈藥ノ補充困難ナリ

最近戰役ノ經驗ニ由ルニ攻者若遠距離ヨリ射撃ヲ開始セハ攻撃反ッテ澁滯シ軍隊往々彈藥ノ缺乏ニ陷リ終ニ挫敗スルニ至ル

三、射手ノ視力及腕力ヲ疲勞セシム殊ニ射撃敎育ノ未熟ナルモノニ在リテハ火戰長キニ渉レハ正シク銃ヲ使用スルコト能ハス終ニハ照準モ爲サスシテ濫發スルニ至ル

四、無効ナル遠距離射撃ハ敵ノ氣勢ヲ長シ自ラ其武器ヲ信賴スルノ心ヲ減ス故ニ遠距離ニ在リテハ特ニ有利ノ目標ニアラサレハ射撃セサルヲ要ス

中距離射撃　此効力ハ全ク無視スヘキモノニアラスト雖固ヨリ近距離射撃ノ効力アルハ疑ヲ容ルヘカラサル所ナリ

攻者ハ守者ノ火力ノ爲ニ已ムヲ得ス自己モ亦火力ノ援助ヲ藉リテ前進セサルヘカラサルニ至ル迄ハ射撃ヲ開始スヘカラス而シテ千乃至六百米(中距離)ニ於テハ

此時機ノ到來スルコト數々ナリ

射撃場ノ成績ニ依ルニ頭部ノミヲ現出シタル標的ニ對シ中距離ニ於ケル射撃ノ命中ハ百分一乃至百分五ニ過キス故ニ斯ル低キ目標ニ對シテハ多數ノ彈藥ヲ使用スルニアラサレハ十分ノ効力ヲ收メ難シ

實戰ニ在リテハ此公算ヨリ更ニ減少スヘシ故ニ矮小ナル目標ニ對シテ好成績ヲ得ント欲セハ唯六百米以內ノ近距離ニ於テノミ望ムヲ得ヘシ

近距離射撃　近距離射撃ノ効力ハ顯著ナルモノトス殊ニ俄然近距離ニ於テ開始シタル猛烈ナル射撃ハ奇効ヲ奏スルコト偉大ナリ

凡ソ近距離ニ於ケル射撃ニ於テハ距離測量ニ誤差アルモ彈道ノ低伸ニ依リテ之ヲ償フノ利アリトス

目標ノ大小ニ由ル射撃効力　目標矮小ナルトキハ唯六百米以內(近距離)ニ於テ効力アルヘシ六百米以上ニ於テハ多數ノ彈藥ヲ費スニアラサレハ著大ノ効力ヲ收ムルコト能ハス目標大ナルトキハ千米以外(遠距離)ノ射撃ハ其命中多キヲ期スルニ從ヒ消費彈藥數亦多キヲ要ス故ニ戰術上ノ關係ナクンハ目標ハ高ク廣ク且長

クシテ命中界濶大ナルモノニノミ射撃ヲ爲スヘキモノトス

獨乙ノ規定左ノ如シ

獨乙射撃教範第百八十四ニ於テハ左ノ如ク規定セリ

中距離(八百乃至千二百米)ニ在リテハ歩兵ノ低キ目標ニ對シテモ尙効力ヲ期待シ得ヘシト雖遠大ノ距離ニ在リテハ其增大ニ伴ヒテ被彈面及薙射界ノ縮小スルカ爲著大ノ彈藥ヲ使用スルニアラサレハ効果ヲ得ヘカラサルモノトス千米ノ距離ニ於テ射撃陣地ニ在ル砲兵ニ對シ歩兵ノ兵力及彈藥ノ補充十分ニシテ其射撃開始以前能ク準備ヲ整ヘ急劇ニ射撃スルトキハ數分間ノ火戰ヲ以テ決勝ヲ期待スルヲ得ヘシ但肩墻ニ據レルモノニ對シテハ其効力減少スルモノトス

高ク且深キ目標(縱隊)ニ對シ射撃ノ指揮正當ナルトキハ最高照尺ヲ以テスルモ効力ヲ期シテ戰ヒ得ヘシ然レトモ其目標ノ正面狹小ナルトキハ側方ヨリスル風力ノ爲被彈面ヲ目標外ニ轉セシムルノ虞アルヲ以テ之ニ對スル處置ヲ怠ルヘカラス

目標ノ遠近距離大小(厚、幅、縱、長)ニ由ル射撃速度　戰術上ノ要求ヲ除キ單ニ目標ニ就テ論スルトキハ其目標遠大ニシテ明知シ難キトキハ速度ヲ緩ニシ近距離ニ在ルカ又ハ明瞭ナルトキハ之ヲ急ニスルヲ常トス

中距離以上ニ在ル低キ目標ニ對シテハ緩徐ナル射撃ヲ行ヒ近距離ニ於テ短少時間有利ナル目標ニ對シテハ其速度ヲ大ニス(新操典第一部百四十二)但砲兵ニ對シテハ千米以外ニ於テモ之ヲ用フルコトアリ最モ良好ナル目標例ヘハ運動中ニ在ル砲兵等ニ對シテハ千米以內ニ於テモ急速ナル射撃ヲ行フ

從來射撃速度ヲ發射彈數ニテ規定セシモ實際ニ適セサルヲ以テ現今之ヲ廢セリ然ルニ千九百五年佛國歩兵操典ニハ射手指定射撃アリ千九百八年露國歩兵操典ニハ彈數指定射撃アリ(次號外國ノ規定參照)

目標ノ位置　目標掩護物ヲ利用シアルトキ之ヨリ離隔シテ位置スルノ度ハ命中効力ニ關ス是其掩護物ノ頂點ヲ過クル彈道ノ彎曲ヲ利用シ得ルヤ否ヤニ關スレハナリ(歩兵射撃教範改正草案第十四)

照準線ノ上方或ハ下方ニ傾斜スル土地ニ在ル目標ニ對シテハ亦其効力異ナリ是

被彈地ノ縦長ハ目標所在地ト照準線ト相成ス角度ニ從ヒテ增減スルヲ以テ縦長目標ニ對シテハ照準線ノ上方ニ傾斜スル土地ハ平行或ハ下方ニ傾斜(但シ下方傾斜一致スルトキハ危險地大ナリ)スルヨリモ命中効力大ナレハナリ但横隊ノ如キ淺薄ノ目標ニ對シテハ効力常ニ同一ナリトス(此論決ハ一彈ナリ以テ一人以上ヲ洞貫セサルコト、跳彈ヲ算入セサルコト、集束彈束葉ノ中心ト縦隊ノ位置ノ關係ハ同一ト見タルモノナリ)(歩兵射撃教範改正草案第百二十二)

目標疎密及明暗 此事項ノ射撃効力ニ關スルヤ言ヲ待タサルナリ

天候氣象 ハ彈道上ニ及ホス影響(歩兵射撃教範改正草案第十一第十二)多大ナルヲ以テ確實ナル射撃効力ヲ得ント欲セハ照尺ヲ既知距離ヨリ多少增加シ又ハ減少スルノ必要ヲ生スルコトアルヘシ

デックフート曰ク守者注意周到其陣地ヲ選定シ得ルトキト雖空氣ノ影響ハ守者ノ目的ヲシテ全ク齟齬セシムルコトナシトセス蓋事物ヲ識別シ難キ曇天、突然發生スル濃霧又ハ强雨ハ數吉羅米ノ射程ヲ僅々數百米及其レ以下ニ減少スルコトアルヲ以テナリ然レトモ守者ハ能ク其陣地ヲ選定シ且光線彼ノ爲ニ便利ナルトキハ戰鬪地ノ最モ廣大ナル部分ニ於テ遠大ノ射程ヲ得ヘシ特ニ兩側面障碍物ニ依托セラレサルトキハ該側ニ於テ之ヲ得ヘシ濃霧ノトキハ射撃ヲ緩ニシ風アルトキハ其良好ナル機ヲ見テ發射セサルヘカラス

射撃姿勢 射撃ノ姿勢ハ命中効力ニ關ス故ニ射手ハ戰鬪ノ目的、目標ノ景況、地形及體格等ニ應シテ適當ノ姿勢ヲ取リ若ハ遮蔽物ノ背後又ハ地物ニ依托シテ命中効力ヲ大ナラシムルコトヲ圖ラサルヘカラス

今村田歩兵銃ノ各種姿勢ニ於ケル命中百分數ヲ左ニ示ス然レトモ實戰ニ在リテハ射手ノ巧拙志氣ノ張弛如何ニ依リ命中百分數ハ射表ニ依リテ計算セルモノトハ同一ナルコト能ハサルコトヲ銘心スヘシ

村田歩兵銃	姿勢	備考
命中百分數		
六二、七五	依托伏姿	階段依托立姿
五〇、二五	伏姿	
四八、〇〇	膝姿	
四六、二五	立姿	
四一、二五		射距離二百米ニ於テ特ニ試驗セシモノ

此成績ニ據レハ良好ノ姿勢ハ伏姿ニシテ不良ナルモノハ立姿トス是立姿ハ射手熟練シ難キト支撐點ノ堅固ナラサルトニ由リテ免ルヘカラサル動搖ヲ生シ精密

ナル照準ヲ爲シ得サルヲ以テナリ而シテ銃ヲ依托スルトキハ其結果益〻良好ナルコトヲ知ルヘシ(以上士官學校兵器學教程拔萃)

以上ノ結果ノ優劣ハ一般ノ小銃ニ就テモ同一ナルモノトス

(知)攻守兩者射撃開始距離

○以下述フルモノハ單ニ戰鬪目的ニ依リ射撃開始ノ距離ニ差異アルヲ示ス

○守者○攻者ハ守者ニ比スレハ常ニ大目標ヲ呈スルモノナルヲ以テ守者ニシテ豫メ射撃ニ關スル設備ヲ爲シ距離ヲ測知シアルトキハ比較的遠距離ヨリ射撃ヲ開クコトヲ得ヘシ持久戰ニ於テ近距離ノ決戰ヲ避クヘキトキハ殊ニ然リ

若守者彈藥豐多ニシテ砲兵ヲ有セス且攻撃歩兵、射撃ヲ行ハスシテ近距離ニ接近スルコトヲ勉メナハ守者ハ益〻遠距離射撃ヲ用フヘキモノトス然レトモ歩砲兵連合ノ部隊ニ在リテハ守者ハ先ツ砲兵射撃ヲ用ヒテ攻者ヲ制壓スルヲ勉ムヘク若砲兵其目的ヲ達スルコト能ハサレハ即チ歩兵ノ遠距離射撃ト共ニ攻者ヲ撃攘スヘキモノトス

敵ノ散兵線援助射撃ナクシテ中距離以内ニ前進スルニ當リ守者之ヲ射撃スルトキハ其命中効力ハ甚大ナルモノニシテ概ネ百分ノ九乃至百分ノ二十ノ命中効力ヲ期スルコトヲ得(三十年式歩兵銃効力表調製法參照)

守者ノ射撃ニ對シ攻者掩護物ヲ利用スルコト能ハサルトキハ其死傷甚大ナルモノナリ故ニ守者ニシテ攻者ノ近距離内ニ侵入スルヲ防止シ得ハ即チ守者ノ勝利ニ歸ス之ニ反シ攻者若近距離内ニ侵入スルニ至レハ守者ハ既ニ勝利ノ公算消滅ス是防禦愈〻暇ナケレハ益〻陣地ニ固着シテ活動ノ機ヲ失スルノミナラス射撃ノ効力上ヨリ論スレハ中距離ニ在リテハ守者ノ射撃効力尚優リ其決斷ノ自由全ク存スト雖攻者既ニ近距離内ニ入ルニ及ンテハ其射撃効力ハ攻守兩者共ニ均一ニシテ勝敗ノ數ハ一ニ攻者ノ勢力漸次增加シテ我ヲ壓スルノ度如何ニ關係スルハナリ

防禦ニ於テ沈着以テ敵ヲ近距離ニ控ヘ猛然起ッテ烈シク發射シ以テ敵ノ心膽ヲ寒カラシメ死傷無數ノ中ニ呻吟シッッアルニ乘シ突貫一番彼ヲシテ悲慘ノ狀況ニ陷ラシメシ例證アリ

○攻者　中距離以上ニ於ケル射撃命中ノ公算ハ守者ニ比シ攻者ニ減少ス又遠距離射撃ハ反ツテ其前進ヲ遅滞セシメ加之彈藥ノ濫費ヲ生シ其補充ヲシテ困難ナラシム故ニ攻者ノ射撃開始ハ唯宜ク晩キヲ要シ爲シ得レハ近距離ノ限界内ニ一擧シテ前進スルコトヲ勉ムヘシ此距離内ニ於ケル射撃ノ効力ハ攻守兩者共ニ相等シキヲ以テ十分突撃準備ヲ爲スコトヲ得

(獨、操)射撃ノ開始ハ主トシテ第一線ニ於ケル戰況ニ關スルモノトス之カ決定ハ通常最前線ニ在ル指揮官ノ手裡ニ存スルモノトス」射撃開始ハ必ス之ニ應當スル効力ヲ豫期スヘキトキ或ハ敵ニ對スル近接動作ヲ續行セントスルニ方リ射撃ノ援助ナクンハ大ナル犧牲ヲ供スルトキニ在リ凡ソ過早ナル射撃開始ハ不靜肅竝信頼ノ缺乏ヲ來シ彈藥ヲ消費シテ之ニ應當スル効果ヲ得サルハ無益且有害ノ兵力消費ト謂ツヘク効果十分ナラサル射撃ハ反ツテ敵ノ自信ヲ高ムルモノトス

(獨、操)各攻撃ハ散開ヲ以テ開始スル戰鬪ノ初期ヨリ十分効力アル射撃ヲ爲サンカ爲ニハ我射撃開始前ニ散兵線ヲ成ルヘク敵ニ近接セシムルヲ原則トス此限界ハ地形及敵火ノ効力ニ關スル軍隊ノ堪能力ノ之ニ關スル亦甚少シトセス」開濶地ニ於テ中距離ニ達シ初メテ射撃ヲ開始スルハ唯教育良好ナル歩兵ニ望ムヲ得ヘシ

○結論　攻者ハ守者ニ對シテ十分有効ナル射撃ヲ施シ得ヘキ距離ニ至ル迄前進スヘシ之ニ先チ射撃ヲ開始スルハ守者ノ射撃ノ爲攻者近距離内ニ前進スルコトヲ得ルヤ否ヤニ關ス攻者ノ中距離ニ於ケル射撃ハ單ニ其目的ヲ達成スルカ爲ノ方便タルニ過キス決シテ守者ヲ殲滅シ得サルモノナリ

平地ニ於ケル特種戰鬪法研究ノ結果下ノ如ク論定セラル「射撃ノ開始ハ彼我射撃ノ効力、軍隊ノ精否、天候等ニ依リテ異ナリト雖攻撃ニ在リテハ敵ヲ距ル千米以内ニ於テスルヲ通常トス」ト然レトモ是一ノ場合ヲ示シタルニ過キス故ニ常ニ此數ニ拘泥スルハ不可ナリ

○守者　ノ彈藥豫多ナルトキニ方リ早ク射撃ヲ開始スルハ唯時間ヲ得ヘキ戰鬪ニ於テノミ施行スヘシ決戰ヲ求ムル戰鬪ニ於テハ敵兵特ニ好目標ヲ現出スルカ又ハ砲兵ノ支援ナキトキニ於ケルノミ敵砲兵優勢ナルトキ敵ノ處置宜キヲ得ス

我レ其不意ニ出テ彼ノ不利ナル隊形ヲ射撃スルヲ得サルトキハ一時沈默ヲ守リテ射撃セサルヲ可トス攻撃ニ於ケルト等シク決戰ヲ求ムル場合ニ於テハ近距離ニ於ケル集團射撃ヲ行フヲ可トス

(利)散兵運動間ノ射撃

○露國ニ於テハ從來特別ノ場合ニ此射撃ヲ許セリ即チ其規定ニ曰ク「最終ノ位置(最終ノ位置ニシテ敵ト隔ルコト大ナラス)ニ達シ散兵線突撃前進中此射撃ヲ行フハ之ヲ許サス然トモ散兵線運動中ノ各個射撃ハ四百乃至五百米ノ距離ニ在リテハ之ヲ行フヲ許ス是此事タル到底避ク可カラサルコトナルヲ以テナリ」ト然ルニ千九百八年改正操典ニハ之ヲ削除セリ

○獨乙操典モ改正以前ニ於テ之ヲ許シ其發射ハ散兵交互ニ停止シテ爲サシメタリ其趣旨ハ此制式ヲ射撃トシテ効力アルモノト認メス寧ロ運動ニ屬スルモノトセリ然レトモ千九百六年改正操典ニハ全ク之ヲ削除セリ

○此射撃ノ利トスル所左ノ如シ

一、停止セル散兵ヲシテ之ヲ起立セシメ次ニ前進セシムルノ困難比較的少ナシ

二、死傷者ハ後方ニ殘留スルヲ以テ各兵ハ之カ影響ヲ蒙ムルコト少ナシ

戰例ニ照ラスニ攻者陣地ニ突入スル際ニ於テ多ク自然ニ運動間ノ射撃ヲ爲スニ至ルカ如シ然レトモ此射撃ノ不利トスル所左ノ如シ

一、散兵ハ駈歩ト射撃トヲ施行スルヲ以テ大ニ疲勞シ沈着ナル銃器ノ操法殊ニ良好ナル照準ヲ爲スコト能ハス故ニ確實ナル命中ヲ期スルコト能ハス

二、射撃効力ノ觀測困難ナリ

三、彈藥ノ多數ヲ浪費ス

四、守者未タ挫折セサルカ若ハ長大ナル距離ニ之ヲ用フルコトハ無望ニ屬ス

五、勇敢ナル守者ノ猛烈ナル射撃下ニ於テ稠密ノ散兵線ヲ以テ凹凸不齊地或ハ樹木繁茂ノ地ヲ前進中此射撃ヲ行フコトハ更ニ幾倍ノ困難ヲ感スヘシ

六、定規トシテ運動間ノ射撃ヲ教練スルトキハ其時其場所ヲ選ハス、シテ之ヲ用フルニ至ルヤモ知ルヘカラス加之兵卒互ニ相傷ケ且將校戰線前ニ在リテ範例ヲ示ス能ハサルヲ以テ前進往々澁滯スルニ至ル

七、二タヒ此射撃ヲ開始セハ散兵線ハ密接スル所ノ豫備隊之ニ誘引セラレテ又射撃ヲ開始スルニ至ルヘク如斯ニシテ突撃兵到底敵ニ達スルコト能ハサルノ虞アリ

○以上ノ利害ヲ比較スレハ到底此射撃ハ其効力ヲ收ムルコト難キヲ以テ本邦ハ操典第六十四ニ於テ「射撃ハ停止シテ行フモノトス」ト規定セリ斯ノ如ク射撃ハ常ニ停止シテ行フヘキモノナルモ一方ニ於テ散兵ハ間斷ナク前進スルヲ要スト云フノ要求ヲ曲解シテ行進シツツ射撃ヲ爲ス如キ弊害ヲ生セシメサルコトヲモ意味ス

（獨、操）放火陣地ニ於ケル散兵ノミ射撃ヲ行フモノトス

（奴）防禦ニ於ケル距離測量法

○距離ヲ詳知スルハ射撃ヲ有効ナラシムルニ缺クヘカラサル要件ナリ中將ローネ曰ク「短小距離ニ於テハ誤測ハ微小ナルノミナラス彈道水平ナルヲ以テ其害小ナリト雖七百米ニ於テハ既ニ殆ト其効力ノ半ヲ失フ」ト此ニ由リテ之ヲ觀レハ距離測量ノ射撃効力ニ如何ナル關係ヲ有スルヤヲ知リ得ヘシ是照尺ノ用法及照準點ニ大ナル關係ヲ有シ從ヒテ命中効力ヲ左右スレハナリ而シテ其種類方法左ノ如シ

一、目測法

距離測量ノ最モ單簡ニシテ多クノ場合ニ適用セラルヘキモノハ目測法ナリ兵卒ハ六百米以內（近距離）ノ目測ニ熟練シ尙千米ニ至ル迄目測シ得サルヘカラス士官及下士ハ近距離ノミナラス六百乃至千米（中距離）ノ目測ニ熟練シ尙千米以上（遠距離）ヲ目測シ得サルヘカラス

然レトモ目測ハ一般ニ誤差ヲ生スルコト大ナルヲ以テ成シ得レハ以下述フル所ノ方法ニ依ルヲ可トス其詳細ハ步兵射撃敎範改正草案第三篇第四章ヲ見ルヘシ

二、步測（騎測）

步測（騎測）ハ目測ニ比スレハ稍々精密ナリト雖又地形ノ險易及傾斜ハ大ニ其効力ヲ減シ誤差ヲ生シ易シ

時間ニ乏キカ或ハ敵兵何レノ地點ヨリ現出スルヤ測リ難キ場合ニハ到底實行シ難シ

三、地圖ニ依ル法

此法ハ大梯尺ノ地圖ニアラサレハ其効力少ナシ何トナレハ歩兵ノ距離測量ハ僅少ニシテ大抵ノ地圖ニ依リテ之ヲ測ルトキハ兩脚器上ニ現示スル尺度至小ナルヲ以テナリ又歩兵戰ニ在リテハ多クハ歩兵ノ位置スル地點ハ圖上ニ於テ正確ニ求ムルヿ困難ナルノミナラス傾斜地ニ在リテハ距離ノ測定容易ナラス何トナレハ地圖上ニ在ル距離ハ水平影直三角形ノ底)ナルヲ以テ更ニ之ヲ換算スルヲ要スレハナリ瑞士大佐某曰ク「土地ノ傾斜十乃至二十度ナルトキハ其距離ニ一〇%増(高キトキ)減(低キトキ)シ二十五乃至四十五度ナレハ一五%ヲ增減スヘシ」ト

四、測繩ニ依ル法

測繩トハ麻綱等ノ類ニ毎十米ヲ標シタル全長百米(或ハ所要ニ從ヒ此長ヲ增減ス)ノモノニシテ之ヲ用ヒ距離ヲ測定ス但傾斜急峻ナルトキ又ハ時間ヲ有セサルトキ等ハ之ヲ用フルコト能ハス

五、測遠器ヲ用フルモノ

單簡ナル測遠器(スーシエーノ「テレメートル」ノ如キモノ)ヲ使用シテ距離ヲ測定ス此法ハ器械ノ使用法ニ熟練セサレハ好果ヲ收ムルコト難シ其他測圖器械ヲ用ヒ基線上ヨリ交會法ニ依リ測定スル法アレトモ歩兵科ニ在リテハ多ク採用セス

六、試射ヲ以テスル法

一齊射撃ノ集束彈ノ束藥ヲ以テ目標ヲ覆ヒ距離ヲ測定ス此法ハ固定目標ニ對シ目標所在地附近ノ地形通視シ得テ彈丸ノ落達ニ當リ觀測シ易ク且敵火ヲ被ラサルノミナラス尚試射ニ時間アルトキニ當リテ用フルモノトス然レトモ此等ノ條件ノ具備スルハ稀有ノ事ニ屬スルヲ以テ採用ノ時機乏シキモノナリ

此法ハ半小隊或ハ一小隊毎ニ單一照尺ヲ以テ目標ノ一點ニ向ハシム而シテ初メハ目標ノ前方ニ落下セシムル爲照尺ヲ過近ニ取リ漸次高上シテ遂ニ適

度ヲ得ルニ至ルヘシ此際彈藥ノ浪費ヲ戒メサルヘカラス

七、音響測量ニ依ル法

音響波動ノ速度ヲ利用シ距離ヲ測量スルモノナリ元來音響ハ一秒時間ニ約三百三十米(三秒時ニ一千米)ヲ經過スルモノナレハ某點ノ距離ヲ知ラント欲セハ其音響ヲ發スヘキ原因ノ瞬時ヨリ我ニ達スルニ要スル時間ヲ知レハ自ラ距離ヲ求メ得ヘシ

現今微煙火藥ヲ使用シ且其爆音モ小トナレルヲ以テ此法ヲ用フル時機從ヒテ乏シ

八、其附近ニ位置スル砲兵或ハ歩兵ニ諮問ス

砲兵ヨリ聞知セシ距離ハ直ニ之ヲ使用シ能ハサル場合アルヘシ何トナレハ砲兵ノ測定距離ハ砲兵ト其目標トノ距離ナルヲ以テ適當ニ減却スルヲ要スレハナリ

○千九百六年改正獨乙操典ニハ距離測量ニ關シ左ノ規定(此規定ハ改正以前ヨリアリシモノナリ)ヲ爲セリ此規定ハ殊ニ攻撃ニ於テ有利ナルヘシト信ス

小隊長ハ正確ニ距離ヲ驗知スルノ責任ヲ負ヒ其側ニ二人ノ距離目測者ヲ置キ督促ヲ要セスシテ該測量ノ結果ヲ報告セシメ又信頼スヘキ分隊長ノ測量ヲ利用ス、距離目測ニ於ケル實戰的協力ニハ特別ノ練習ヲ必要トス

距離目測者ハ敵竝自己ノ隣接部隊ノ觀測及若樂手ニ依リテ行ハレサルトキハ中隊長トノ目視連絡ニ依リテ小隊長ヲ補佐ス

小隊長ハ距離目測者ノ任務ニシテ必要ナラサルニ至ラハ之ヲ火戰ニ參與セシムルモノトス

○夫レ距離目測ノ術タル困難ニシテ吾人ハ皆始メヨリ萬能ノ者ノミニアラス故ニ新任又ハ未熟ノ小隊長ニ在リテハ此必要大ナラン

(留)火線ニ於ケル各級指揮官ノ射撃指揮ニ關スル任務

○今左ニ火線ニ於ケル指揮官ノ射撃指揮ニ關スル任務ヲ示サン然レトモ其命令區域ハ判然區別シ難キモノアリ

(イ)大隊長

一、前進方向若ハ占領スヘキ陣地ノ指定各中隊ノ攻撃スヘキ敵陣地ノ指示

二、射撃ノ開始ヲ命ス（例外ノ場合ニノミ）

三、時機ヲ誤タス彈藥ノ補充配賦ヲ爲ス

(ロ)中隊長

一、小隊ノ陣地ヲ指示ス

二、距離ヲ測定ス

三、射撃目標ヲ命ス

四、射撃ノ開始ノ時機及其距離ヲ小隊長ニ命ス

五、部下小隊ノ射撃効力ノ狀態ヲ知得ス殊ニ中距離（六百乃至千米）及遠距離（千米以上）ニ於テ然リ

六、部下小隊ノ運動ヲ命ス

七、戰線ニ於ケル彈藥ノ補充

(ハ)小隊長

一、小隊ヲ射撃ニ便ナル位置ニ部署シ自ラ射撃指揮ニ便ナル地ニ占位ス

二、距離ヲ測定ス

三、要スレハ射撃目標ヲ規定ス

四、要スレハ照尺ヲ定ム

五、要スレハ射撃ノ開始、中止、停止及其種類ヲ號令ス

六、射撃効力ノ觀測

七、彈藥ノ消費ヲ監視ス

八、敵ノ動靜ニ注意ス

九、隣接小隊ト協力ス

(ニ)分隊長

一、小隊長ヲ補翼スルノミナラス時トシテ小隊長ニ代リテ指揮ヲ執ル

二、分隊ヲシテ其指命セラレタル位置ニ就カシム

三、武器ノ使用就中照尺ノ正否、照準點ノ可否ヲ監視ス

四、彈藥ノ消費ヲ監視ス

五、彈着ヲ觀測ス

六、命令ノ普及竝其實行ノ責任ヲ負フ

七、要スレハ小隊長ノ命令ヲ比隣分隊ニ傳達ス

步兵戰術講義錄第二卷終

步兵戰術講義錄奥附
豫約價金貳拾五錢

明治四十三年三月二十日印刷
明治四十三年三月二十七日發行

著作兼發行者　東京市牛込區若松町百五十番地　上田賴三

印刷者　東京市芝區櫻川町十七番地　山田三次郎

印刷所　東京市芝區櫻川町十七番地　山田活版所

發行所　東京市牛込區若松町百五十番地（陸軍戸山學校前通り）　軍需商會
電話番町一四七二番
發電略號（グンシン）
振替貯金口座東京五四一六番

複製不許

軍需商會編纂部著

●下士上等兵 學科教程

（拔差シ自由綴）

全一冊 正價金五拾錢 郵稅金八錢

●本書ノ特色

永久使用ノ便ヲ計リ之ヲ「拔キ差シ自由ノ綴」トナセリ本書中或ル課目ノ改正アルトキハ本會ノ訂正發行スル新版物ト交換挿入スルヲ得ルモノトシ永久活用シ得ル寶典タリ

本書ハ步兵科ニ於ケル下士、上等兵タルベキ諸士ノ必要ナル學科ヲ教授シテ其根基ト實力トヲ具備セシムル爲メ

一軍制學　二步兵操典　三野外要務令
四射擊教範　五體操教範　六劍術教範
七軍隊內務書　八野戰教城教範　九測圖學
十陸軍禮式　十一衛生學　十二陸軍刑法
十三陸軍懲罰令　十四衞戍服務規則　十五交通教範
十六築營教範　十七架橋教範（應用材料之部）

ニ於テ適當ト認ムル諸項ヲ網羅シ著者ガ他年隊附間ニ於ケル實驗ニ基キ編纂セラレタルモノトス故ニ之レガ教育ニ從事セラル、教官諸賢ハ勿論下士上等兵ノ候補者タルベキ諸君ノ爲メ至便至利ノ良書ナリ

軍需商會出版部發行

住民地及森林之戰鬪

上下全二冊豫約價 上卷 金四拾錢 下卷 金四拾錢 郵稅各金四錢宛

上卷 一月 廿五日發行

下卷 一月 五日發行

本書ハ該當有益ナル學者ノ編著ニシテ其內容ハ從來發刊ノ書籍ト異ニシテ頗ル詳細ニ住民地及森林ノ戰鬪ヲ論シタルモノニシテ秩序整然理論明晰加之引證確實眞ニ近來ノ好著ト爲ス苟モ研究セラレントスル各位ハ座右ニ一本ヲ備ヘラルルヲ希望ス製本ハ頗ル美麗殊ニ上欄ニ空位ヲ存シ各位ノ記入ニ便トス

目次概要左ニ（細目記載ヲ省略ス）

上卷●第一章特性、用途及具備スベキ要件○第一節防禦上村落及森林ノ特性及用途○第二節署守者○第一節周緣、複郭、地障○第二節防禦ノ部○第一節攻擊ニ於ケル兵力區分及諸兵種ノ用法○第四節守者ノ兵力區分●第三章攻者●第四章戰鬪○第一節緣端ニ達スル迄ノ戰鬪○第二節偵察及砲戰●第五章大ナル住民地又ハ森林ノ出口ニ對スル戰鬪下卷●第四節退却及追擊○第三節內部ノ戰鬪●第六章市街戰●第七章日獨墺佛英ノ規定

軍需商會出版品目概要

著者	品名	正價	郵稅
岡本中佐 竹下少佐 竹下大尉著	機關銃ノ戰術的用法	四〇	四
同	步兵機關銃教育案	三〇	二
軍需商會著	機關銃射擊指揮及取扱法問答	三〇	二
同	步兵機關銃問答	一〇	二
同	露軍機關砲ノ使用	一五	二
同	步兵之射擊指揮	三〇	四
同	戰鬪射擊擬習及實習	二五	四
隈部中佐著	實際的步兵射擊學	五〇	四
軍需商會著	夜間戰鬪	一五	二
井上少佐著	步兵夜間動作ノ教育	二〇	二
軍需商會著	陸軍大學校入學試驗問題集	三〇	二
同	追錄	一五	二
同	數學問題解	二五	四
同	用兵問答	二五	四
同	兵學研究資料	七五	四
山田中佐著	改訂第三版應用帥兵術	七〇	四
軍需商會著	統帥ノ例解	一五	二
同	兵語之解	一五	二

著者	品名	正價	郵稅
奧田大尉著	明治四十年改訂野外要務私解	四〇	四
同	步兵操典改正草案私解	二〇	二
軍需商會著	典範令研究之栞	一五〇	六
雪峰氏著	日露戰勝敗ニ關スル觀察	二五	四
KT生譯述	戰術問題解決ノ要旨	三〇	四
天北外史著	戰術之栞（一名勝敗ノ原因）	二五	四
軍需商會著	戰術彙抄	二五	四
平澤耕平郎述	斥候長	三五	四
軍需商會著	步兵斥候教育問答	二〇	二
同	步兵傳令使（步哨）教育問答	二〇	二
山縣大尉著	軍人精神教育之栞	三〇	四
井上少佐著	下士兵卒精神訓戒集	一五	二
武川大尉著	軍人精神修養訓	一五	二
軍需商會著	精神教育問答	二〇	二
同	下士兵卒用軍隊內務問答	一〇	二
服部中尉著	軍隊內務一覽表	五〇	二
軍需商會著	體操劍術教育要領	二〇	二
同	體操劍術問答	一〇	二

著者	品目	正價	郵稅
佐久間少佐閱	步兵通信手簿	一三	二
軍需商會著	改訂第三版下士教育手簿	一〇	二
同	步兵工作問答	一〇	二
同	改正步兵教練問答（下士上等兵用）	一〇	二
同	步兵射擊問答	一〇	二
同	野外要務問答	一〇	二
同	測圖學問答	一〇	二
同	衞生學問答	一〇	二
同	軍制學問答	一〇	二
同	陸軍懲罰令問答（附戒嚴令及服制規則）	一〇	二
同	陸軍禮式問答	一〇	二
軍需商會著	部隊戰鬪 第一卷 步兵中隊戰鬪 第二卷 大隊戰鬪 第三卷 聯隊戰鬪 第四卷 旅團戰鬪	四〇〇	四
軍需商會著	住民地及森林之戰鬪 上卷下卷	一四〇	四
同	步兵操典衍義	四〇	四
步兵戰術講義錄壹冊ニ付		一五	四

著者	品目	正價	郵稅
軍需商會著	●名譽標的		
●是鴉（鴉ヲ熱柿ノ如キ點ニ見ヨ）		一五	二
●是猫（猫ヲ小雞ノ如キ點ニ捕フ）		一五	二
●花間（花ヲ蔦ノ如キ點ニ見ヨ）		一五	二
●吸密（蜜ヲ吸フ如キ點ニ見ヨ）		一五	二
●襲來（馬上ノ敵兵ヲ襲來ノ如キ點ニ見ヨ）		一五	二
●相鬪（龍虎ノ相戰フ如キ點ニ見ヨ）		一五	二
●見紛（日向ノ黃蘗ニ見紛フ如キ點ニ見ヨ）		一三	二
●歡迎（花束ヲ歡迎スル如キ點ニ見ヨ）		一三	二
●走兎（原野ノ走兎ヲ見ル如キ點ニ見ヨ）		一三	二
●揚名（鱸ノ南瓜ニ登ルヲ犯ントスル如キ點ニ見ヨ）		一三	二
●出世（鯉ノ龍門ニ登ル如キ點ニ見ヨ）		一七	二
●勿侮（鳥カ威ヲ喰ム如キ點ニ見ヨ）		一七	二

617
238

陸軍戸山學校戰術科御編輯

兵棋圖

●奈良及郡山附近 三十六面一組 金八圓
●藤岡及兒玉町附近 三十面一組 八圓五十錢
●豐橋附近 三十面一組 八圓五十錢
●豐橋附近補足圖 六面一組 五圓五十錢
●知立町附近 三十面一組 八圓五十錢
●加古川町附近 四十六面一組 金拾參圓

軍需商會編纂部發行

●轉換兵棋圖 十六面一組 金六圓
（旧轉換兵棋普通圖貳組附屬）
●轉換兵棋普通圖 十六面一組 金五拾錢

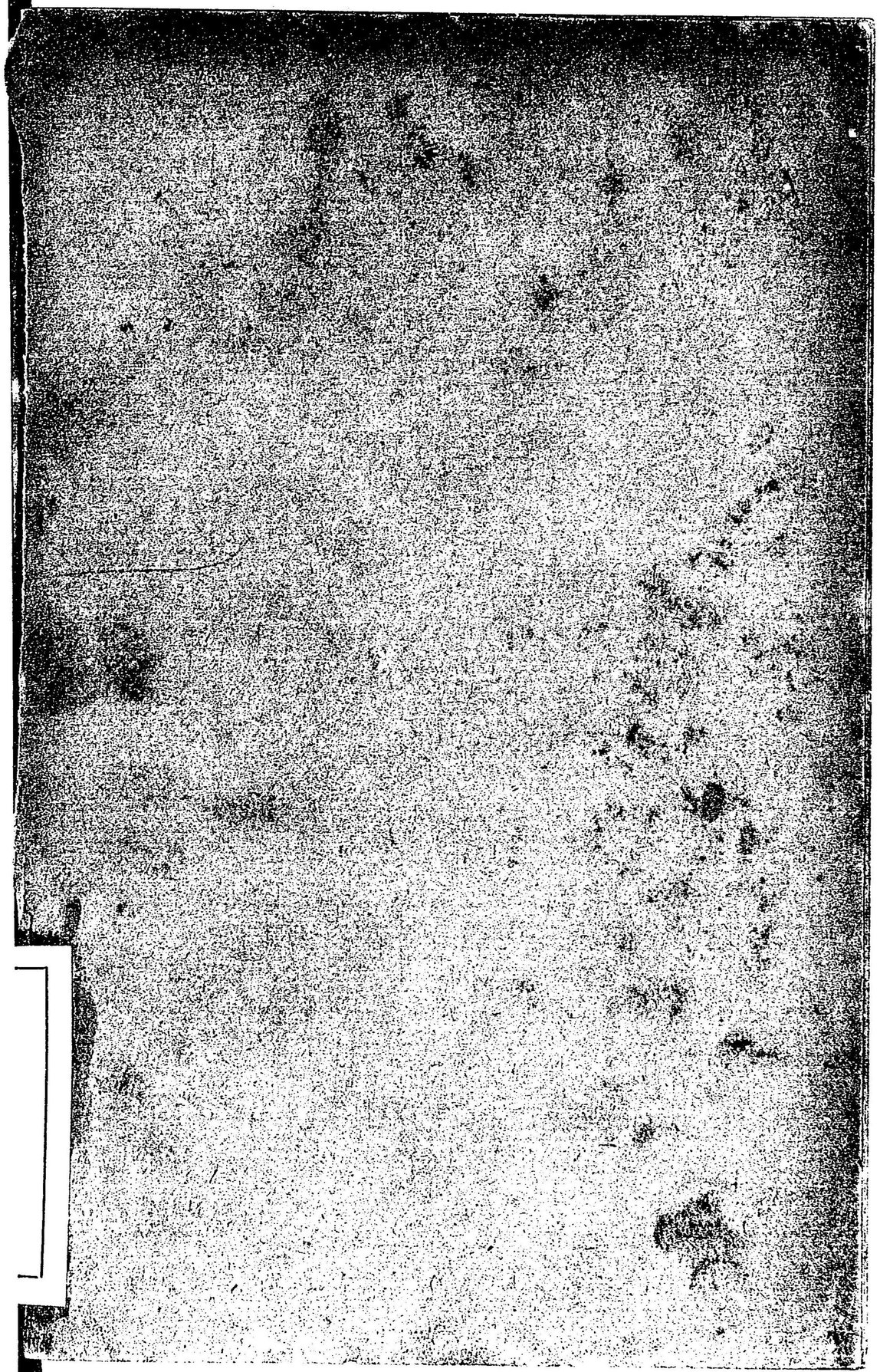
前記轉換兵棋普通圖貳組ノ附屬ニテ尚ホ不足ト認メラルル、ノ向ヘハ、十六面壹組ニ付正價金五十錢ノ割合ヲ以テ貴需ニ應ズ

陸軍戸山學校戰術科御用品
軍需商會出版部調製

●兵棋隊標

●新式兵棋隊標 正式ノ分 各種共 壹組 金貳拾五圓
附屬品共 陶器製
●新式兵棋隊標 甲種ノ分 同 金六圓
●從來之形兵棋隊標 附屬品共 同 金貳拾五圓
●新式兵棋隊標用略附屬品 同 壹圓五拾錢
●携帶式陶器製應用隊標 明治四十二年十月發行

（地形圖ニ應用シ得ルモノ左ノ二種トス）

●天號 藍色、赤色共各一組 金參圓五拾錢宛
●地號 藍色、赤色共各一組 金貳圓五拾錢宛

但天號、地號ハ藍色、赤色等御入用品ヲ特ニ御指定ナキトキハ、藍色ノ分ヲ上納可仕儀ト豫メ御了承ヲ奉願上候